

ホームページ講習会 テキスト

明治大学 教育の情報化推進本部

2018年9月版

1. 概要	1
1.1. ページ公開のしくみ.....	1
1.2. HTML とタグ	3
2. コンテンツ（素材）の作成	4
2.1. 準備.....	4
2.2. ホームページ・ビルダー21 の起動.....	6
2.3. 新たにページを作成する	8
2.4. 文字の入力（見出しの作成）	13
2.5. 文の入力（段落の作成）	17
2.6. フォントの変更.....	20
2.7. 水平線の入力.....	23
2.8. 箇条書きの入力.....	24
2.9. 壁紙の挿入	25
2.10. ページにタイトルを付ける.....	26
2.11. ページを保存する	27
2.12. リンクの設定.....	29
2.13. 画像の挿入	38
2.14. ページの保存（画像ファイルも合わせて保存する）	41
3. WEB サーバーへのアップロード	42
3.1. ページのアップロード	42
3.2. ホームページをブラウザ上で見る	46
4. 付録	48
A. 表の挿入	48
B. ロゴの作成.....	49
C. サイト機能.....	50

---本テキストについて---

このテキストは、ホームページ・ビルダー21 クラシック（ホームページ作成ソフト）を利用して、ホームページの元となる形式のドキュメントを作成後、大学のWebサーバーへファイル転送ソフトを用いて転送してホームページを公開するまでの基本的な手順を記しています。

使用環境はWindows10 となりますが、パソコンの基本的な操作、ウェブブラウザ（Microsoft Internet Explorer や Mozilla Firefox、Google Chrome 等）の操作に関する詳細は、本テキスト中では省略させていただきます。

1. 概要

1.1. ページ公開のしくみ

ホームページは WWW というシステムを利用して情報を発信する際に作成します。作成したデータを Web サーバー上に用意することで、インターネットに接続したコンピューターから、そのデータが閲覧できるようになります。

WWW : World Wide Web (ワールド・ワイド・ウェブ)

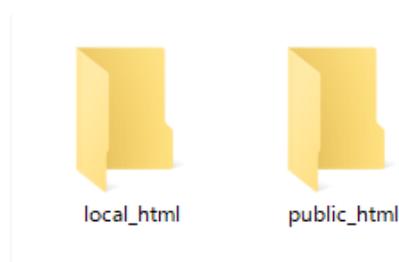
Web サーバー : 情報を実際に発信するコンピューター

■ 明治大学の利用者がホームページを公開する場合、下記の 4 つの手順が必要です。

1. MyDocs (X:) に

- local_html (学内向けの場合)
- public_html (学外向けの場合)

という名前のフォルダを作成します。



2. そのフォルダの中に、作成したホームページのファイルや画像を保存します。

3. ホームページを保存したフォルダを、ファイル転送ソフト「FFFTP」を利用して学内のファイルサーバーにアップロードします。

4. ブラウザのアドレスバーに下記の URL を入力することで、公開されていることを確認します。

学内のみの公開 …

<http://local.kisc.meiji.ac.jp/~ユーザーID/ファイル名>

学外への公開 …

<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~ユーザーID/ファイル名>

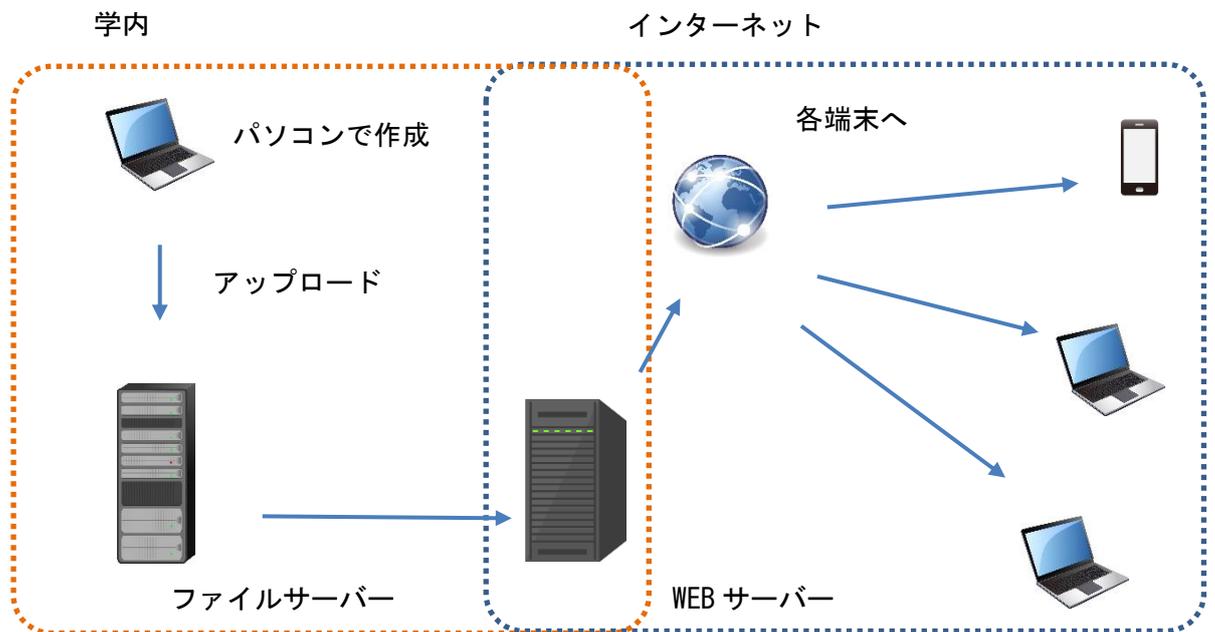
※ ユーザーIDは、学部生の場合 MeijiMailの@以前の英数文字 になります。

※ ファイル名を指定しない場合は、通常 index.html を読み出し、これがトップページとなります。(後述 2.11. ページを保存する)

この講習会では最終的に 46 ページの図のようなホームページを完成させます。

なお、ホームページを公開するに当たっては、「MIND 利用基準」を遵守しなければなりません。以下を参照してください。

- 学校法人明治大学総合情報ネットワーク (MIND) 利用基準
<http://www.meiji.ac.jp/mind/rule/mind-riyouki jun.html>
- 学校法人明治大学総合情報ネットワーク (MIND) 運用基準
<http://www.meiji.ac.jp/mind/rule/mind-unyou-ki jun.html>



ページ公開のしくみ

参考：

ユーザーID 前の [~] (チルダ) は
[Shift]キー + [へ]キーを半角で入力したものです。
[Shift]キーを押さずに[へ]キーを押すと
[^] (キャレット) が入力されます。
また、 [_] (アンダーバー) は、
[Shift]キー + [ろ]キーを半角で入力したものです。



1.2. HTML とタグ

HTML とは「Hyper Text Markup Language」の略称です。下図のようなものをソースコードと呼びます。ホームページは、ブラウザがソースコードを視覚化したものです。

<H1>ようこそ</H1> の部分のように < > 記号で囲まれた部分を「タグ」と呼びます。

<HTML>が HTML 文書の開始タグ、<BODY>がホームページ本文の開始タグ、</BODY>が本文の終了タグと言うように、データが「どういう要素であるか」を記述しています。

HTML のデータの中身はテキストデータですので、「メモ帳」、「秀丸」、「TeraPad」などのテキストエディターでも作成可能ですが、その場合は「タグ」の種類・意味を理解する必要があります。

この講習で使う「ホームページ・ビルダー21」は、「タグ」を知らなくても、直観的な操作で、タグを自動的に埋め込みながらホームページの作成を行えるものです。

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>私のホームページ</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<H1>ようこそ</H1>
<IMG SRC="my_face.gif">
<HR>
このホームページの説明
・
・
</BODY>
</HTML>
```

2. コンテンツ（素材）の作成

これからホームページの作成を行いますが、まず命名規則の注意点について記述します。特に注意することは、コンテンツやフォルダの名前は全て半角英数で入力するという事です。

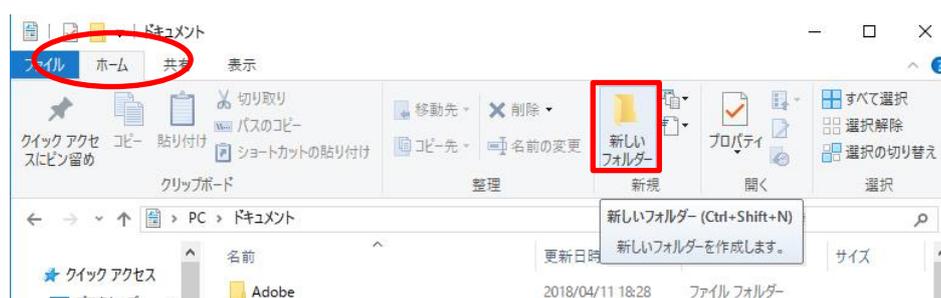
全角文字、半角カタカナ、日本語等で名前を入力するとホームページを公開した時に正しく表示されないことがあります。また、環境によっては大文字小文字をしっかりと区別することが必要な場合もあります。スペースも全角、半角問わず混乱の原因になるので取り扱わないほうがよいでしょう。

2.1. 準備

ドキュメントに local_html というフォルダを作成してください。これは明治大学における、学内に公開するためのフォルダの命名規則です。レンタルサーバーなどでは自由に命名することができます。

ウィンドウ上部メニューバーの [ホーム] タブを開くと見つかる [新しいフォルダ] をクリックし、フォルダを作成します。エクスプローラー上の空いている場所で右クリックをし、新規作成→フォルダ でも可能です。半角英数で「local_html」という名前に変更します。

以後、作成したページや画像はすべてこのフォルダに保存します。また、サーバーへの転送もこのフォルダをまるごと行います。



注意：

ひとつのフォルダにすべてのコンテンツが入っていないと、ホームページを更新した時に画像が表示されない、リンク（参照）が切れてしまうなどの不具合が生じます。

サイト機能の紹介：

ホームページ・ビルダーには上記でフォルダを作成するのと同じ目的で、「サイト作成」という機能を利用することもできます。

サイト作成をするとサイト単位でファイルの読み込みができ、またサイト内のファイルのツリー構造が確認できます。既存のホームページの構造を知るのにも便利な機能です。詳細は「付録 C. サイト機能」を参考にしてください。

2.2. ホームページ・ビルダー21 の起動

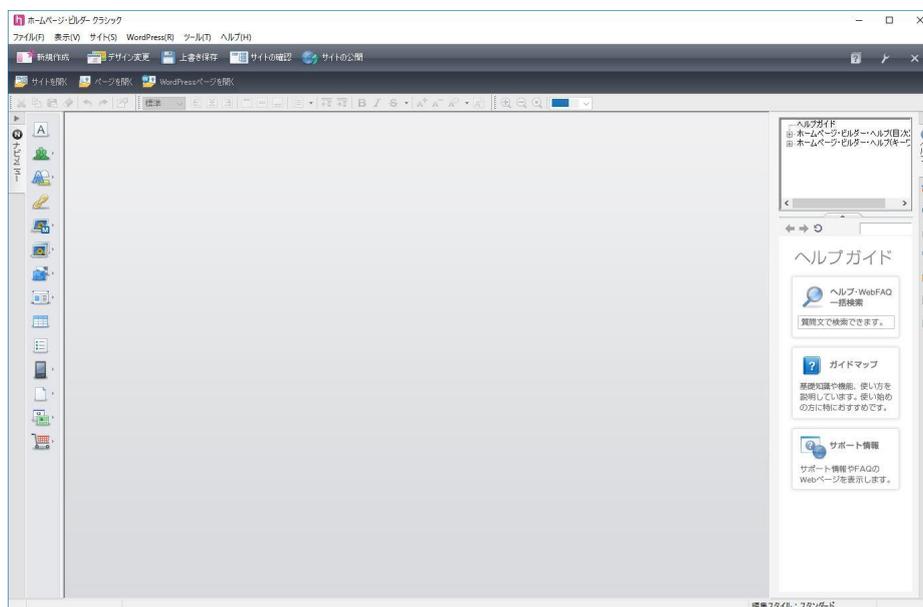
ホームページ・ビルダー21 を起動してください。

「スタート」ボタンからいちばん下にスクロールし
→「ホームページ・ビルダー21」フォルダ
→「ホームページ・ビルダー21 クラシック」

をクリックすると起動できます。

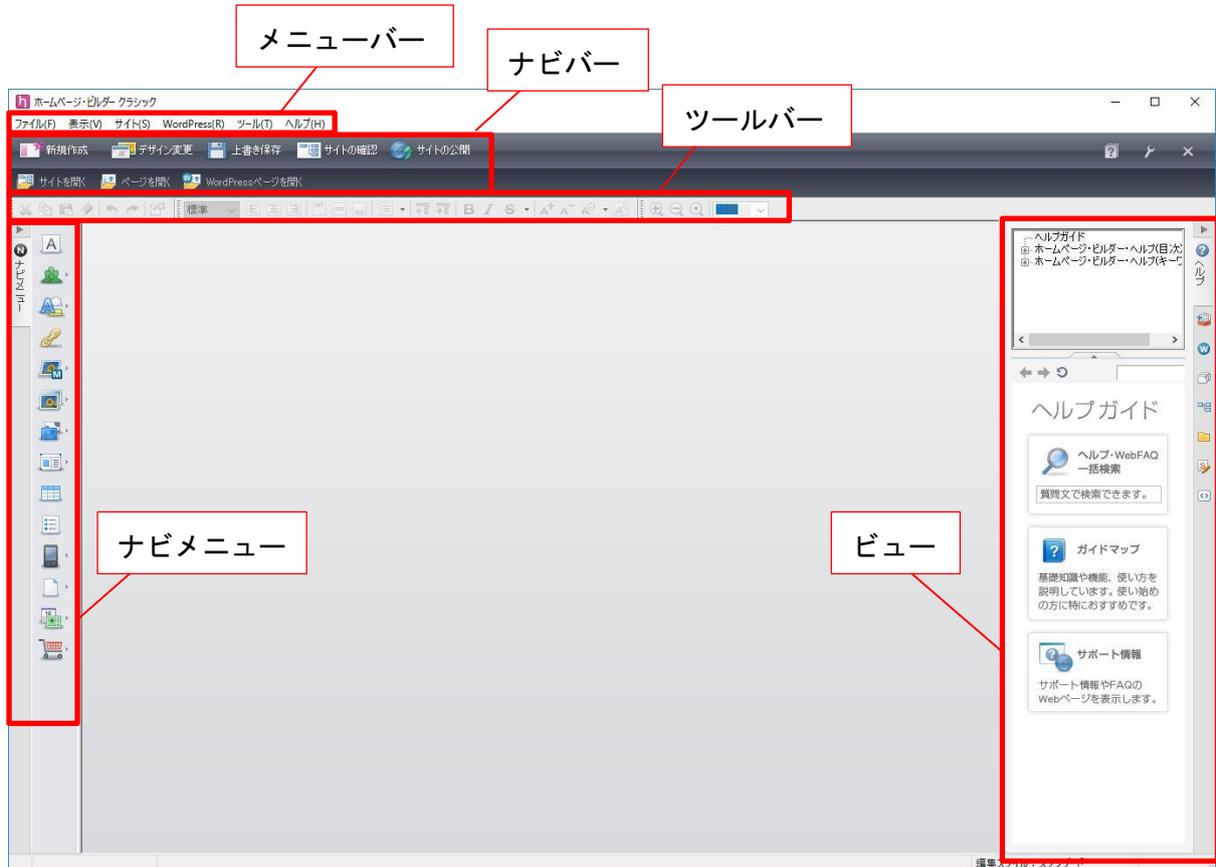


ホームページ・ビルダーが起動します。



各部名称

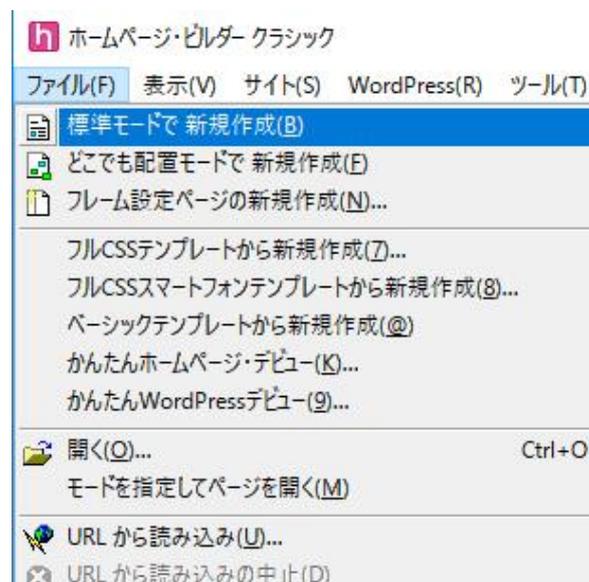
ホームページ・ビルダー21 クラシックの各部名称です。



2.3. 新たにページを作成する

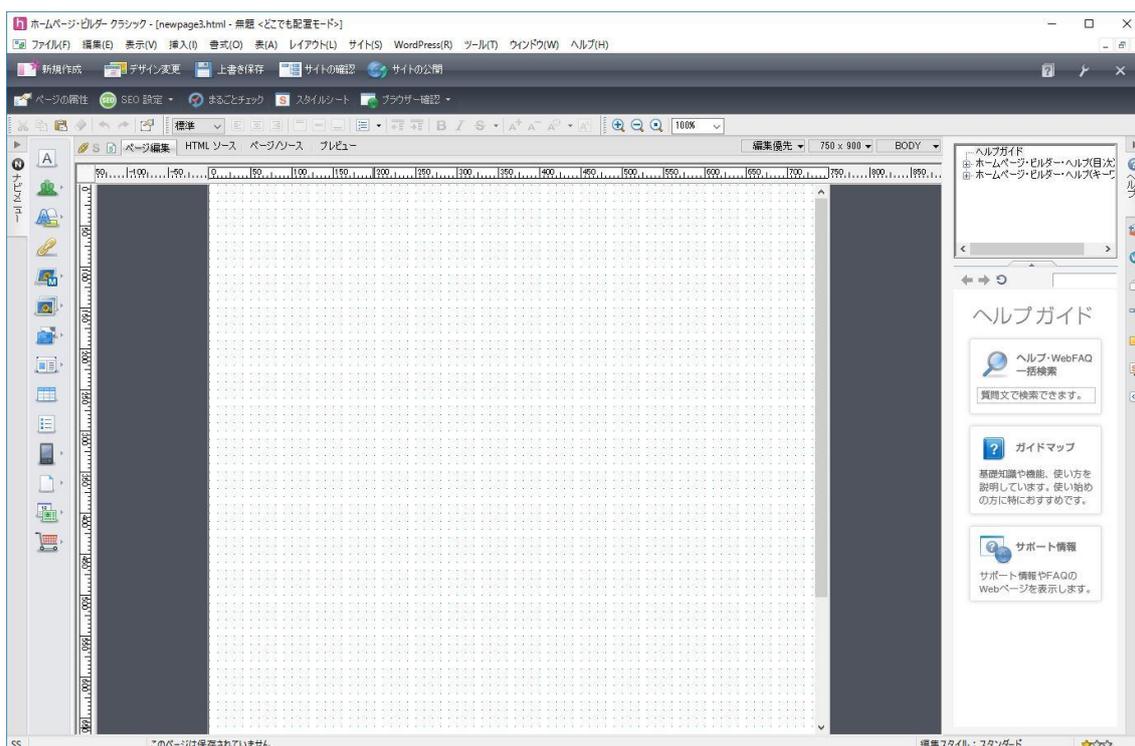
標準モードで新規作成

メニューバーより、「ファイル」→「標準モードで新規作成」と選択してください。ここで、一般的なページの作成が始まります。この講習会では、主にこのモードでページの作成を行います。



どこでも配置モードで新規作成

ホームページ・ビルダーでは、様々なホームページの形式を設定することができます。メニューバーより、「ファイル」→「どこでも配置モードで新規作成」を選択すると、下図のような水色のグリッドが引かれたモードになります。このグリッドに沿って、さまざまなレイアウトを簡単に作成することができます。表を使用したレイアウトなどを作成するときには特に役立ちます。



フレーム設定ページの新規作成

画面が二分割されているホームページを見たことがあるでしょうか。画面の分割はフレームという機能を使って実現できます。ある程度ホームページ・ビルダーの機能やHTMLについて学んだら、ぜひ挑戦してみましょう。しかしながら、スマートフォンなどのモバイル端末ではレイアウトがうまく表示されないという欠点があり、近年の使用率は減少しています。

フレーム機能もウィザードを使用して、簡単にページを作成することができます。



フル CSS テンプレートの新規作成

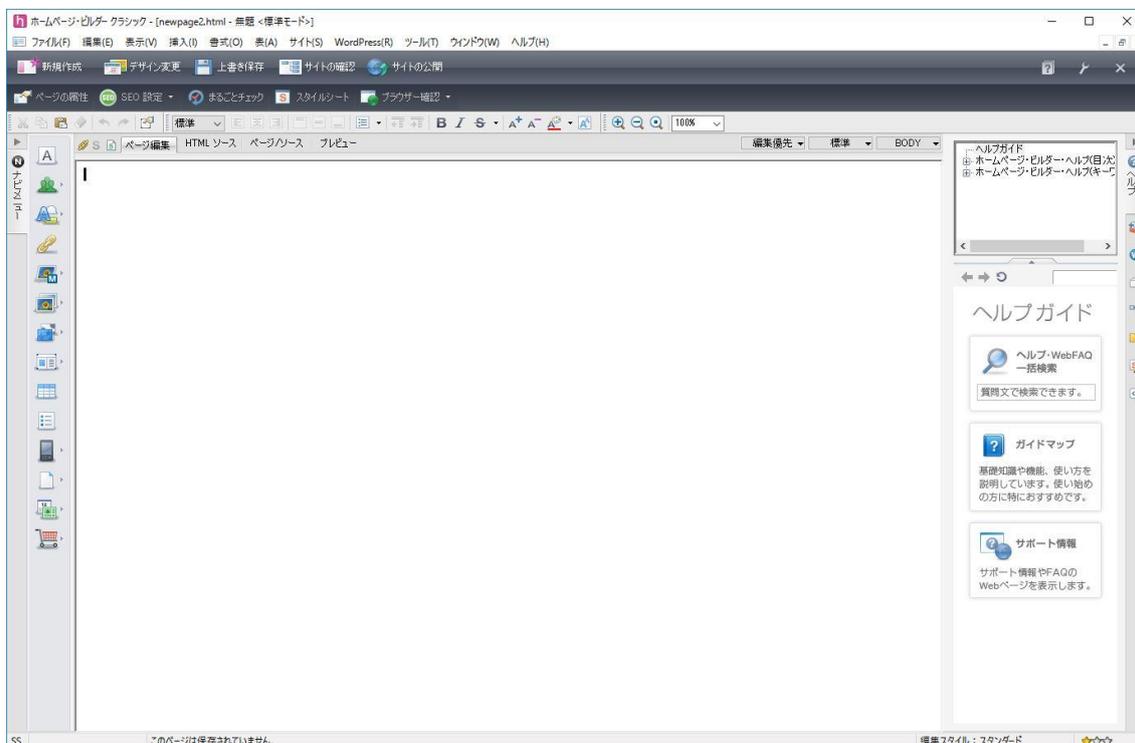
ウィザードに沿って作成を進めることで、ホームページ・ビルダーで用意されている形式のホームページを作成することができます。ホームページ全体の構成が自動的に生成されるため、効率的に作成が行えますが、作成されたホームページに変更を加える場合、ホームページ・ビルダーの基本的な操作や、HTML についての知識が必要となります。

中身の差し替えだけで気軽に高級なページを作成できます。スマートフォン向けのテンプレートも豊富です。

The screenshot displays the 'フルCSSテンプレート' (Full CSS Template) selection window in Builder Story. The window is divided into a left sidebar with category filters (e.g., 企業, 店舗, クリニック) and a main area showing six different template thumbnails. Each thumbnail includes a preview of the website design and a label such as '企業[0013] - グリーン' or '企業[0001] - ブルー'. Below the thumbnails, there are options for '作成するページ' (Create pages) and 'ページの設定(S)...' (Page settings). The bottom part of the image shows a preview of a website created using one of these templates, featuring a navigation menu, a main content area with a headline, and a sidebar with a 'ヘルプガイド' (Help Guide) section.

2.4. 文字の入力（見出しの作成）

標準モードで新規作成をします。

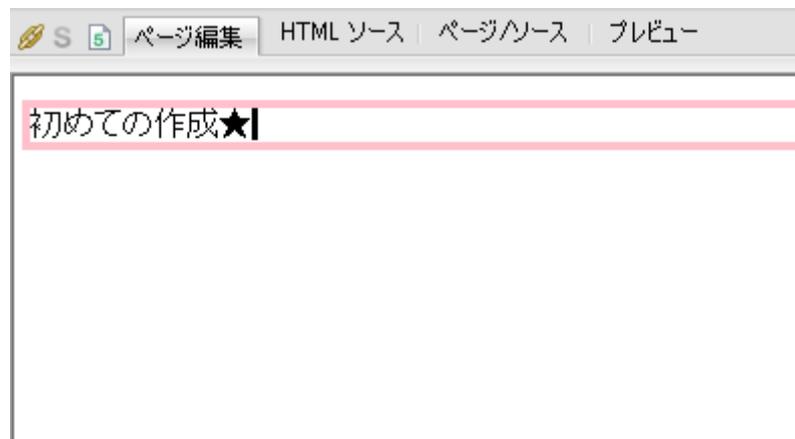


はじめにページに見出しをつけましょう。「ページ編集」の画面内で適当な箇所をクリックして文字を入力する準備をしてください。下図は入力した例です。実際の入力は次ページから紹介します。

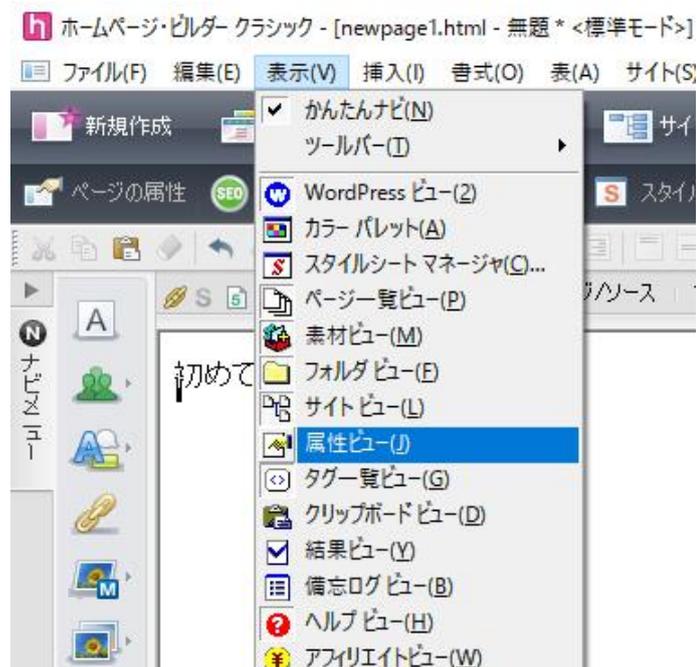
行が選択されている間、ピンクの枠が表示されます。この枠が、現在編集している対象あるいはページの「部分」を示し、この枠内の箇所に対して様々な設定を指示することが可能です。



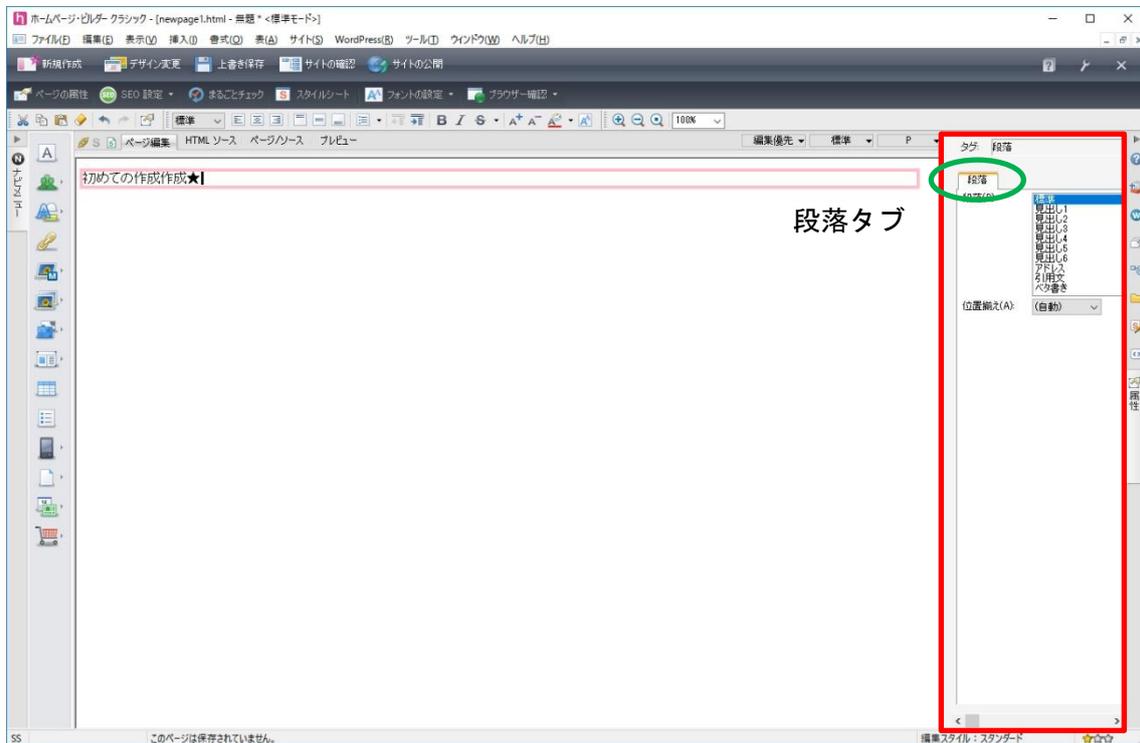
「初めての作成★」と文字を入力してください。



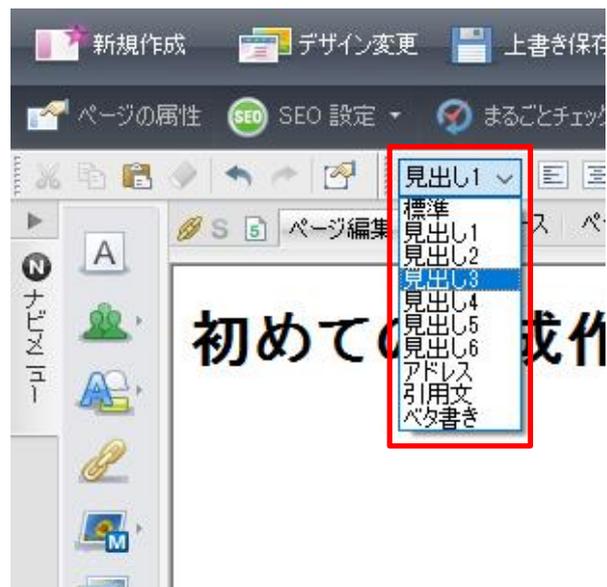
文字を入力したら、メニューバーより、「表示」→「属性ビュー」を押して、属性ビューを表示させます。



赤枠の部分に、属性ビューが表示されます。



「段落」タブの中の「見出し1」を選択してください。すると、ピンクの枠線内の文字が「見出し」の「レベル1」に設定されます。この操作は画面上部のツールバーから選択することも可能です。



「見出し」とは新聞の「見出し」と同じ意味で、表示される文字の大きさについての指示とは少し異なります。「見出し」がブラウザ上（Internet Explorer や Google Chrome、Mozilla Firefox など）で、どのような文字・大きさで表示されるかという点については、基本的には Web ブラウザの仕様に依存します。極端に言えば、見出し 1 が 24pt で表示されるブラウザもあれば、36pt で表示されるブラウザもあるかもしれない、ということです。

2.5. 文の入力（段落の作成）

見出しの設定ができれば、通常の文章を入力してみましょう。

まず、2.4 文字の入力（見出しの作成）で作成した見出し「初めての作成★」の下をクリックします。このとき「はじめての作成★」に表示されていたピンクの枠が消え、その下でカーソルが入力待ちの状態になります。このとき、カーソルがずれて見えますが、気にしないでください。そこに「これからホームページを作ります。」と入力してみましょう。

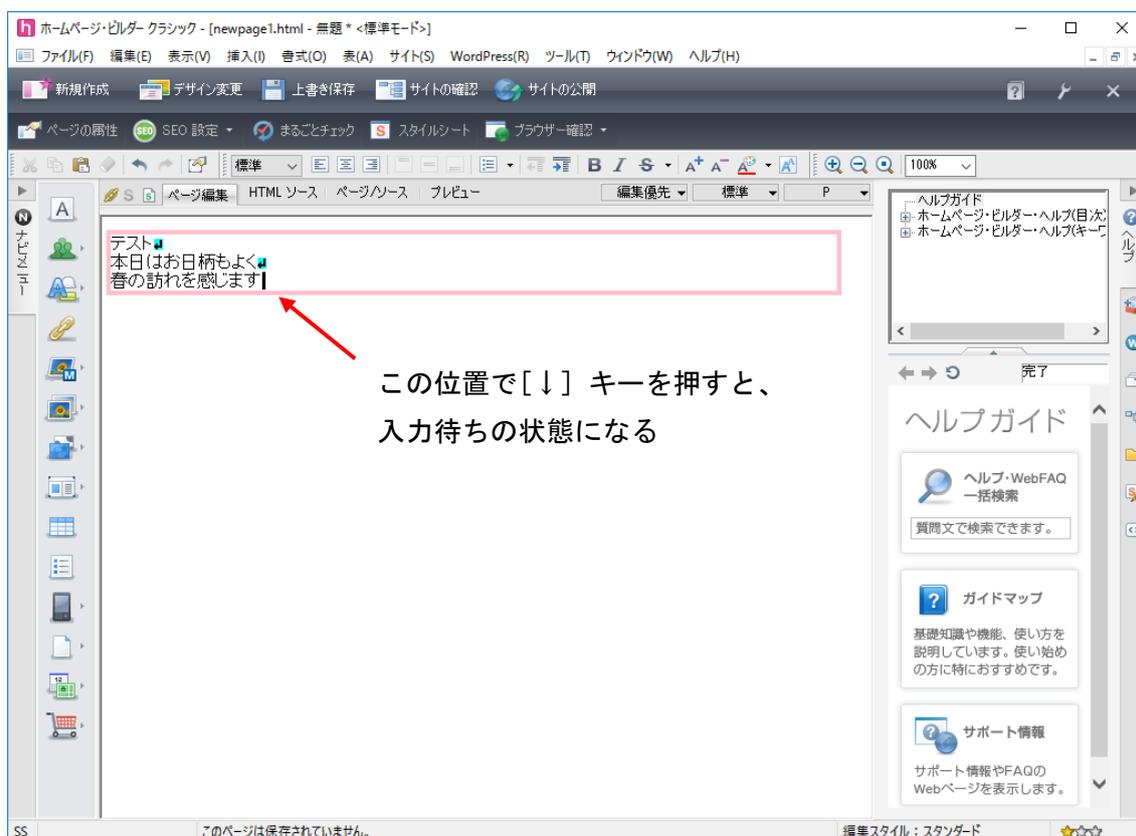


入力した文字が、新しくできたピンクの枠に入りました。ピンクの枠は段落です。ひとつの文章は段落によってまとめられます。

ホームページ・ビルダーでは、段落内の最下段の文字を編集集中に、下向きのカーソルキー（[↓] キー）を押すと、新しい文、段落が開始され、新たに文字を入力できます。

また、段落の途中で「Enter」 キーを押しても、行は変わりますが段落が変更になったとはみなされません。

たとえば、見出しにピンクの枠があり、見出し文の最下段にカーソルがある場合に、下向きのカーソルキー（[↓] キー）を押すか、ピンクの枠の下方の余白をクリックすることで、段落を抜けて入力待ちの状態に移行できます。



ホームページ作成上の注意点

段落と改行

「改行」の指示は行を変えるという
タグをページに埋め込みます。一方「段落」の変更は<P>タグが埋め込まれます。ひとつの段落はひとつの枠内で完結しますが、改行は段落内に何個も存在できます。

ホームページやメールを作成する際に「使わない方がよい文字」

世の中には様々なコンピューターがあり、機種によっては表示できない文字（機種依存文字）があります。

たとえば、

丸付きの数字 : ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓ など

組み文字 : ミリ キロ キロメートル グラム アール ㏍㏎㏏㏐㏑㏒㏓㏔㏕㏖㏗㏘㏙㏚㏛
mm cm km mg kg cc No. K.K. TEL (株) (有) (代) ㏞㏟㏠㏡㏢㏣ など

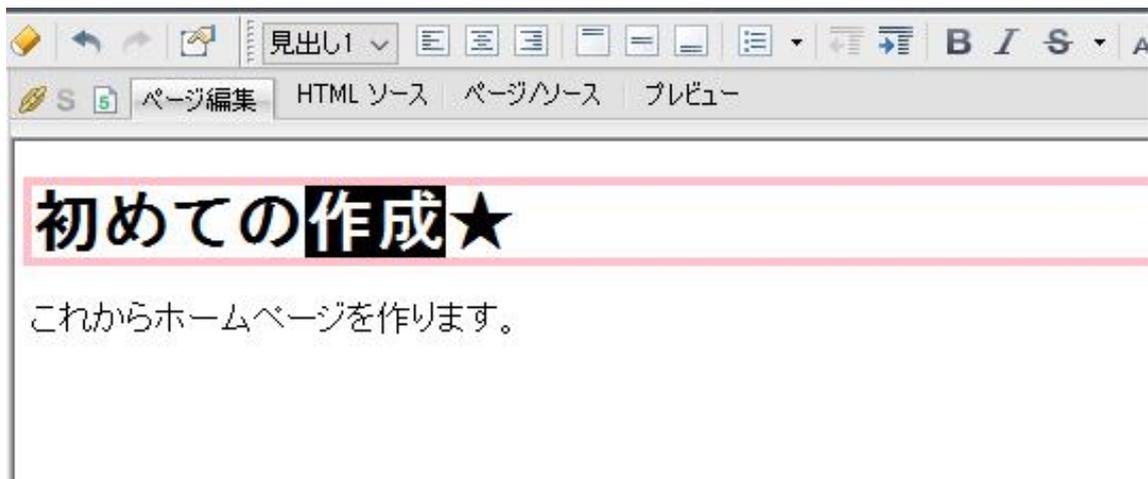
そのほか : 半角カナ文字 (ｱｲｳｴ)、ローマ数字 (ⅠⅡⅢⅣ i ii iii iv) など

ホームページやメールを作成する際には、このような文字の使用は避けましょう。

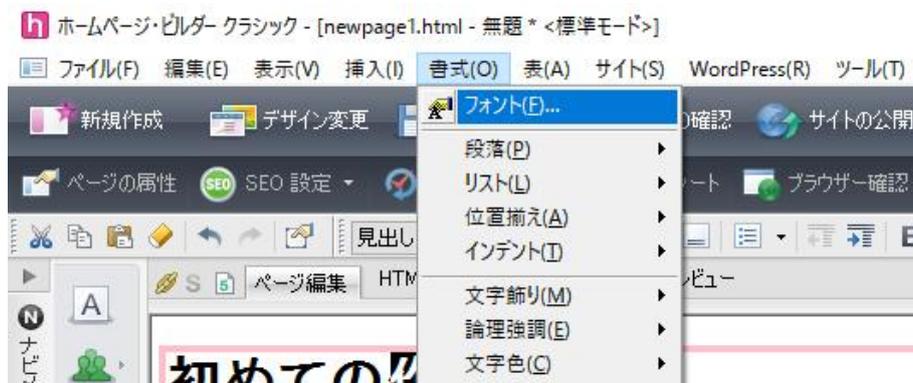
2.6. フォントの変更

フォントを変更してみましょう。

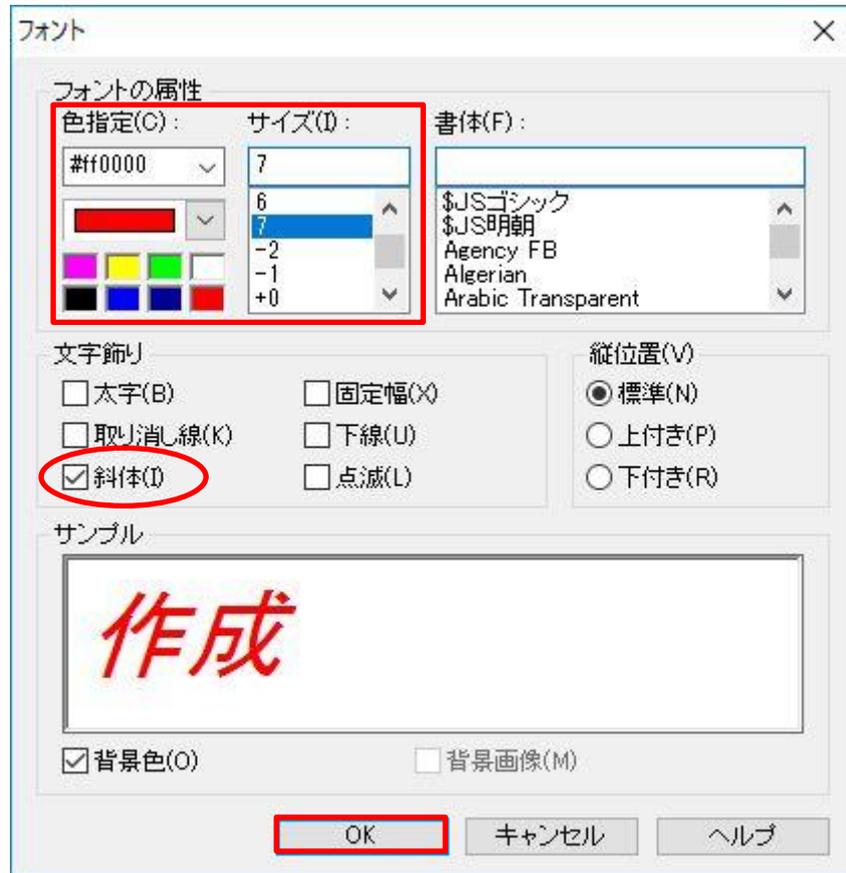
初めての作成★の「作成」の部分をドラッグして選択します。



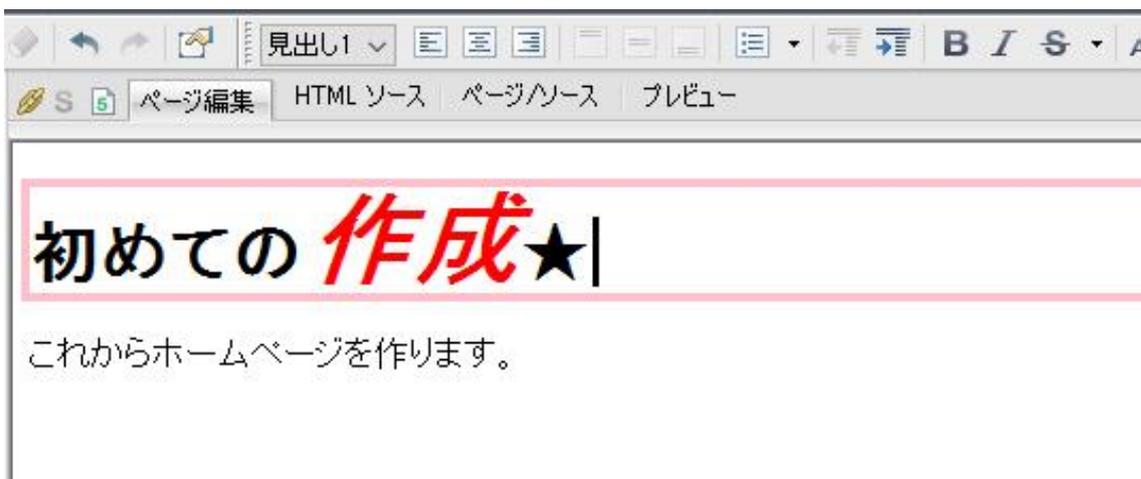
メニューバーから、「書式」→「フォント」を選択します。



フォントダイアログが開きます。ここで任意のフォントを設定することができます。ここでは、色を赤（#ff0000）、サイズを7、斜体にしてみました。サンプルを確認したら、OK ボタンをクリックします。



フォントが適用されました。



簡易なフォント機能は、ツールバーからも設定することが可能です。



このツールバーを利用することでも、フォントを変更できます。

赤枠で囲んだアイコンをクリックすると、さきほどのフォントダイアログが開きます。

段落の指定について：

文字列に「ピンク色の枠」（どこでも配置モードの場合は水色の枠です）が表示されている時は「段落」が選択されています。この状態でメニューバーの「編集」→「属性の変更」（または右クリックで出たメニューから「属性の変更」）を選択すると、「段落」全体に対しての属性指定になってしまい、個別の文字色や形状の変更はできません。

要所のフォントを調整するには、**必ず文字そのものの部分を選択**してからフォント設定を行ってください。

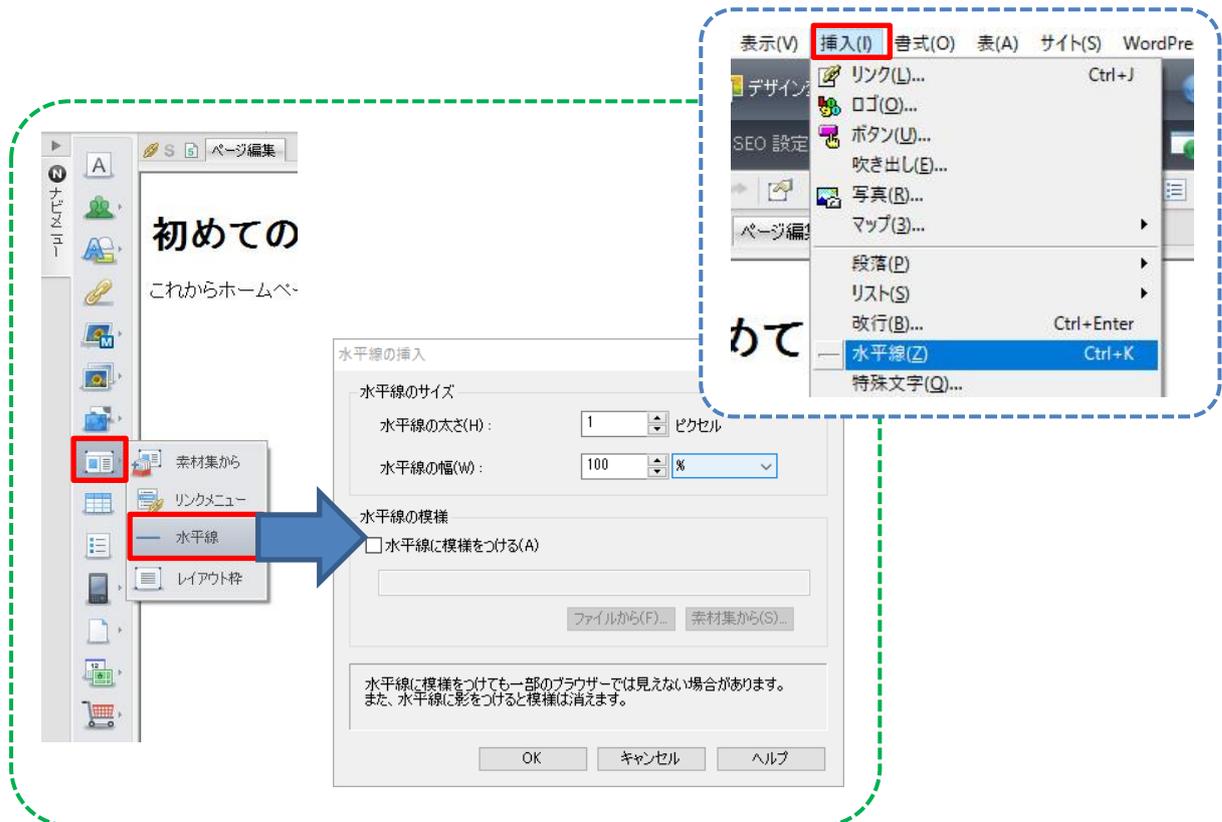
文字の大きさの指定について：

文字の大きさは、1～7までの数字、あるいは、-2～+4の割合で指示します。特に指示がない場合、文字の大きさは3（+0）になります。ただし、大きさの違いは実際に各ブラウザで表示しないとわかりませんので、注意してください。

2.7. 水平線の入力

次は水平線（区切り線）を引いてみましょう。新しく文章を入力する感覚で、カーソルを進めてください。

次に、メニューバーから「挿入」→「水平線」をクリックするか、画面左部分に表示されている「ナビメニュー」→「レイアウト部品」から「水平線」ボタンをクリックしてください。後者はダイアログが表示されて、水平線のカスタマイズが可能です。

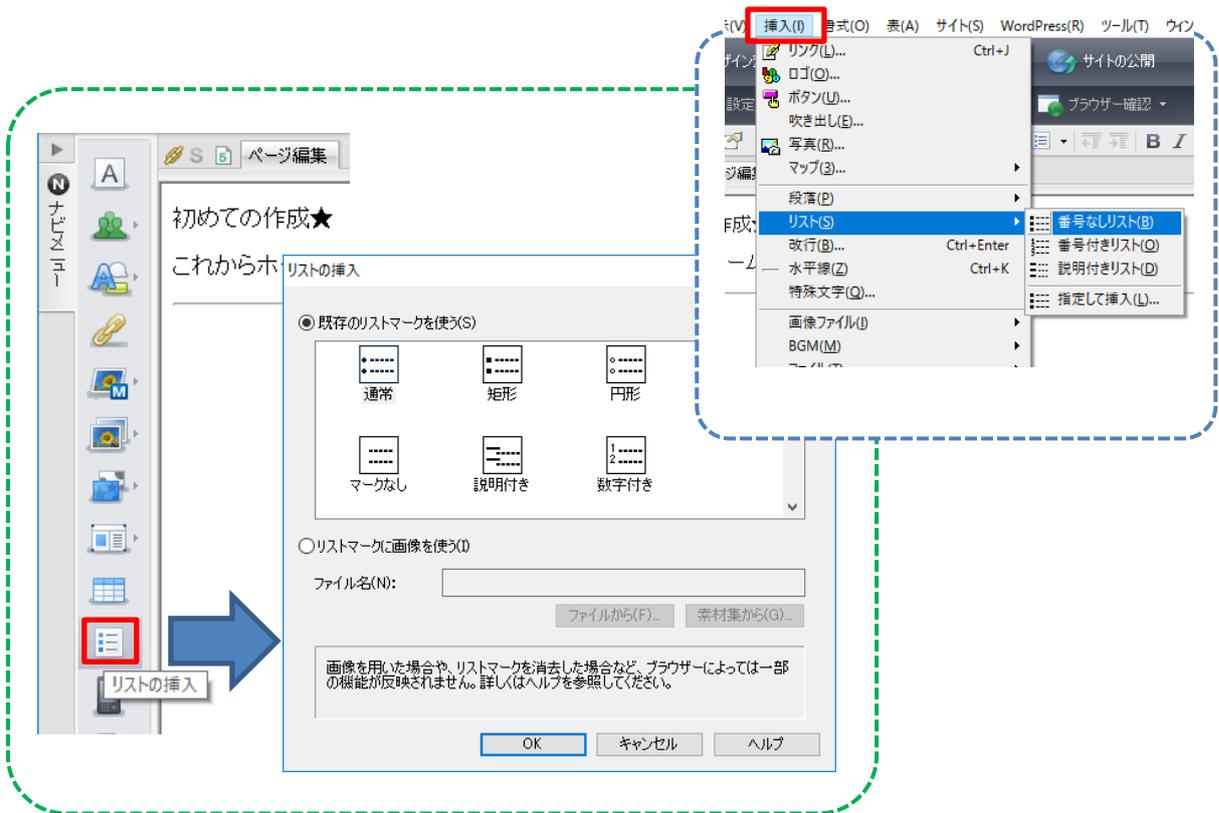


水平線が挿入されます。

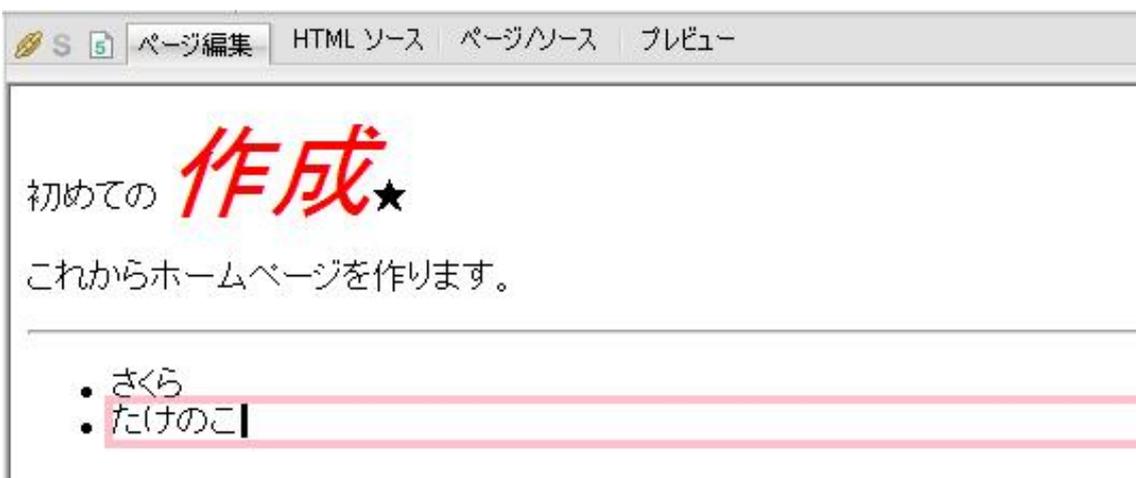


2.8. 箇条書きの入力

箇条書きを作成してみましょう。新しく文章を入力する感覚で、カーソルを進めてください。次に、メニューバーから「挿入」→「リスト」→「番号なしリスト」をクリックするか、画面左部分に表示されている「ナビメニュー」→「リストの挿入」ボタンをクリックしてください。後者はダイアログが表示されて、リストマークのカスタマイズが可能です。

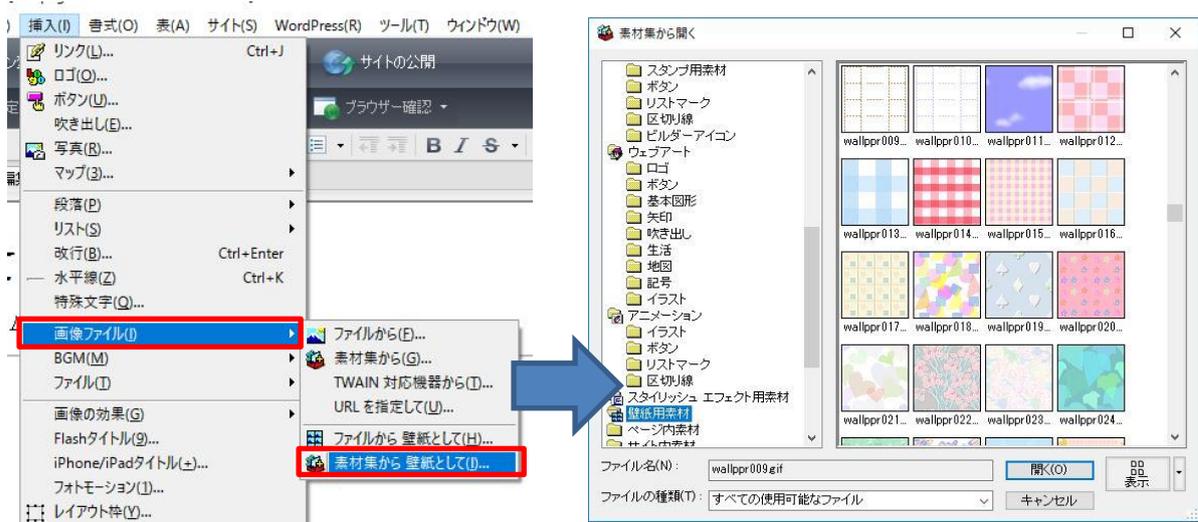


リストが入力できます。



2.9. 壁紙の挿入

背景に壁紙を設定します。メニューバーから「挿入」→「画像ファイル」→「素材集から壁紙として」を選択してください。好きなデザインを選択して、「開く」をクリックしましょう。



背景に壁紙が設定されました。

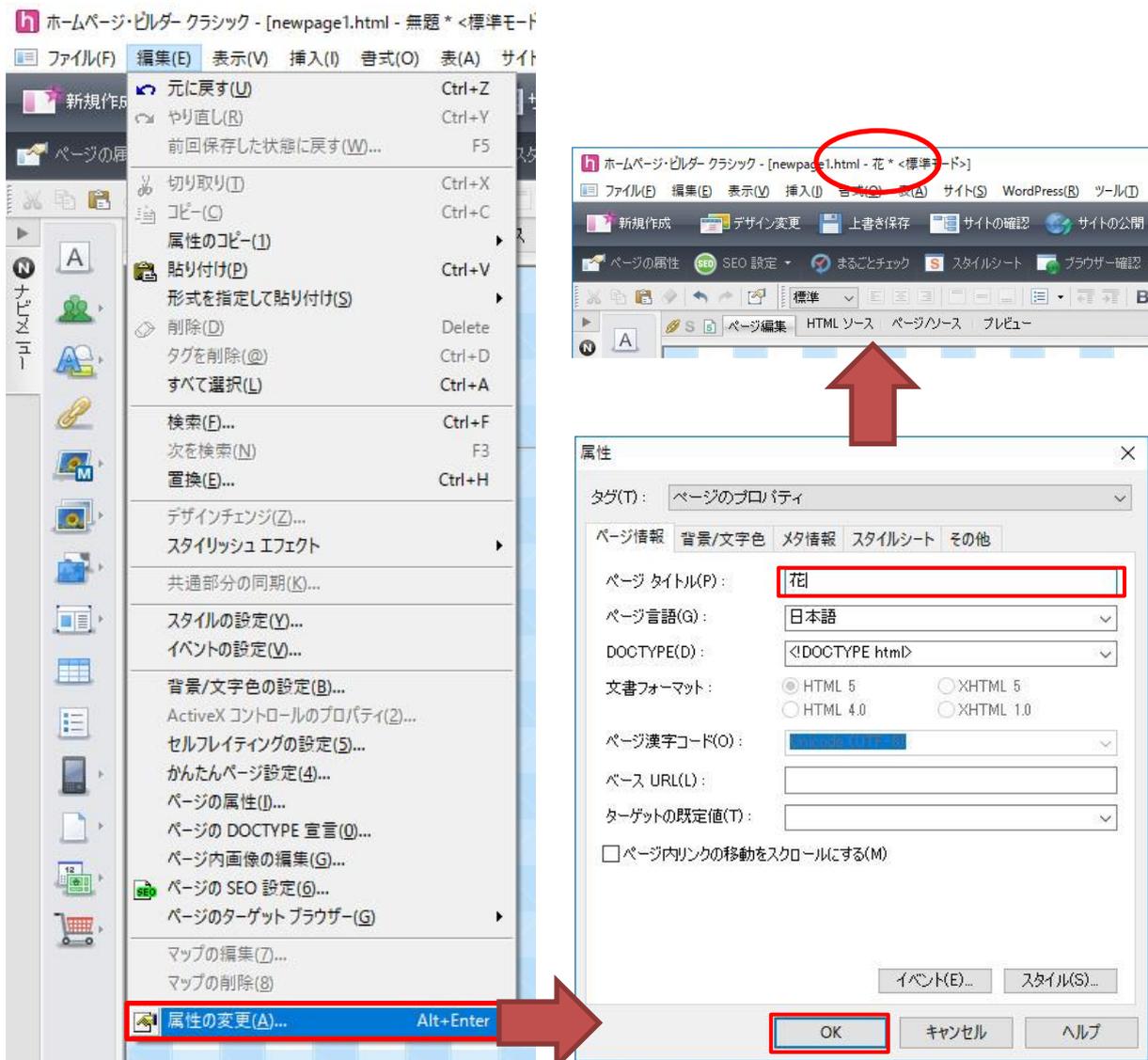


2.10. ページにタイトルを付ける

「タイトル」とはホームページの名前のことです。ブックマークをつくったときなどに表示される部分です。「見出し」（本文の文頭）とは異なります。

画面上で何も選択されていない状態で、メニューバーから「編集」→「属性の変更」を選択してください。

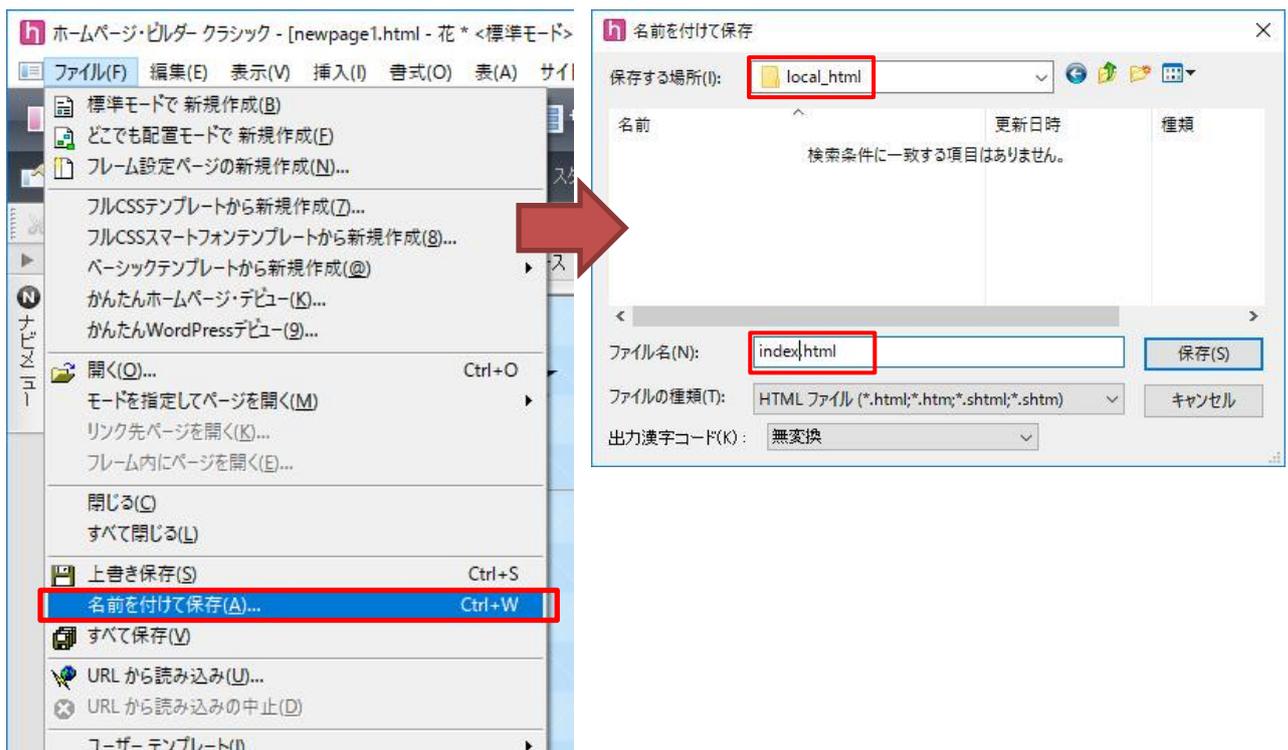
右下図、属性ダイアログの「ページ情報」タブにある「ページタイトル」に適当な名前を入力し、「OK」をクリックしてください。ここで入力した文字列が、編集中のページのタイトルになります。また、このダイアログのほかのタブで、ページの背景色や表示文字色の基本設定を行うことができます。



2.11. ページを保存する

メニューバーの「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択し「local_html」フォルダの中へ、「index.html」という名前を半角英数で入力し保存します。

※「保存する場所」を指定しないと「ドキュメント」にページが保存されてしまうので注意してください。

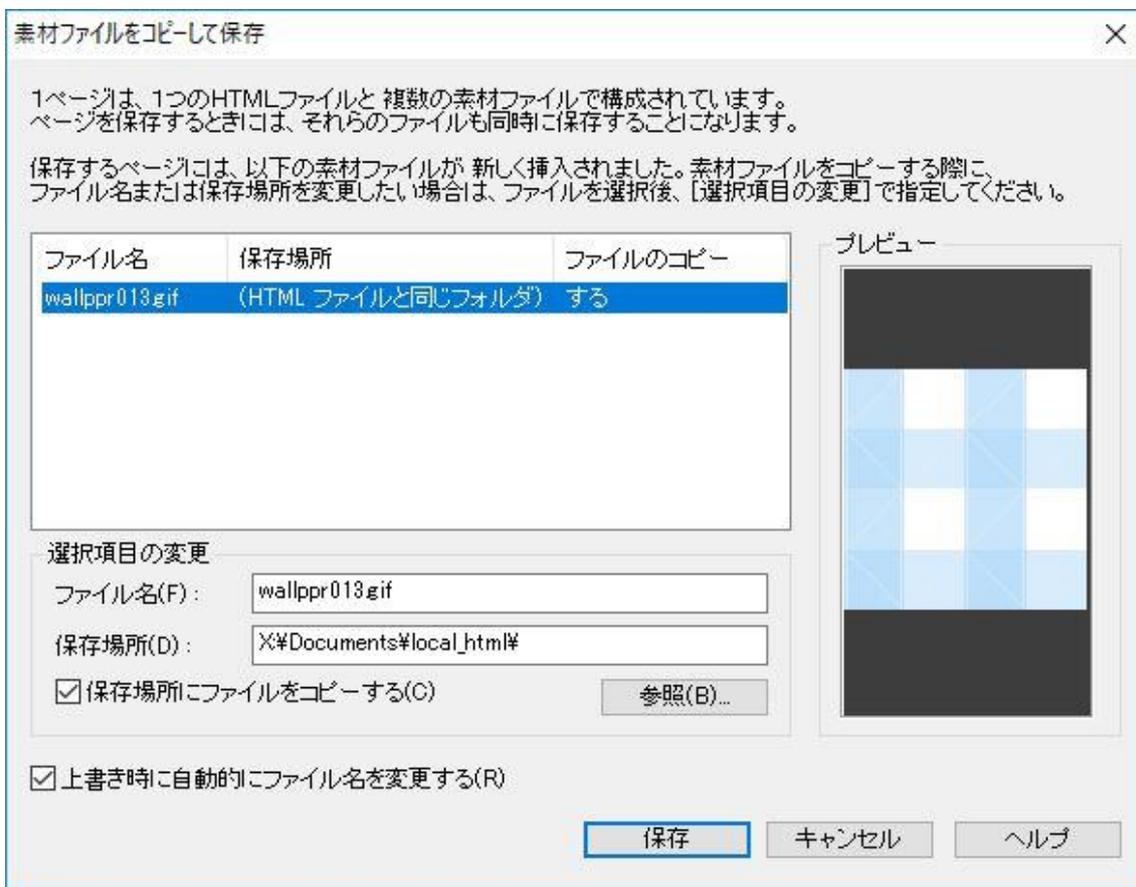


補足

index.html というファイル名について

明治大学で運用している Web サーバーは、あるクライアント（ブラウザ）からページのリクエストを受け取ったときに、ページの名前が省略されていると、「index.html」という名称のファイルを応答し表示します。例えば、「http://www.kisc.meiji.ac.jp/」という URL を入力された場合、「http://www.kisc.meiji.ac.jp/index.html」をトップページだと判断して応答し表示します。Web サーバーではファイル名が省略された場合に、この「index.html」という名前のファイルを自動的に応答するという設定がされている場合がほとんどです。

すると、壁紙に使用した画像素材をどこに保存するかという確認画面が出てきます。今回はそのまま設定し index.html ファイルと同じ場所に保存します。



注意：

保存した html ファイルの編集画面を再度開く時は、ホームページ・ビルダーを開いてから行ってください。エクスプローラー上でファイルをクリックして開いても、ファイルの編集画面を開くことはできません。

補足

abc ファイル名は必ず半角英数で **ABC**

パソコンではファイルやフォルダの名前には、アルファベットや数字だけでなく、ひらがな、カタカナ、漢字など様々な文字を使うことが可能です。しかし、ファイル名に漢字や記号等を使用すると、FTP ソフトや Web サーバー、パソコンの種類や言語環境によってはページを公開する際に文字化けするなど正しく表示されないことがあります。ページや画像・写真につける名前は、半角英数字のみを使うよう注意してください。また大文字・小文字の区別にも気を付けましょう。スペースの使用もなるべく避けたほうが無難です。

2.12. リンクの設定

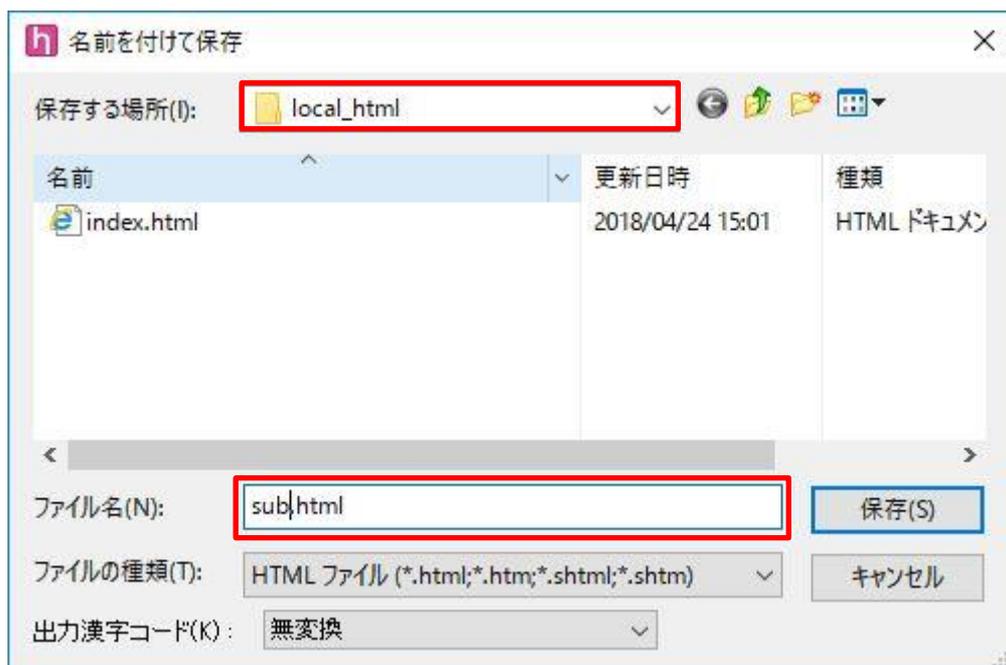
リンク先の用意

リンクの設定をします。最初にリンク先のページを用意します。

リンクとは複数の文書を結び付ける役割を担う「参照」のことであり、ジャンプ先を指定し、別ページに移動することを指します。

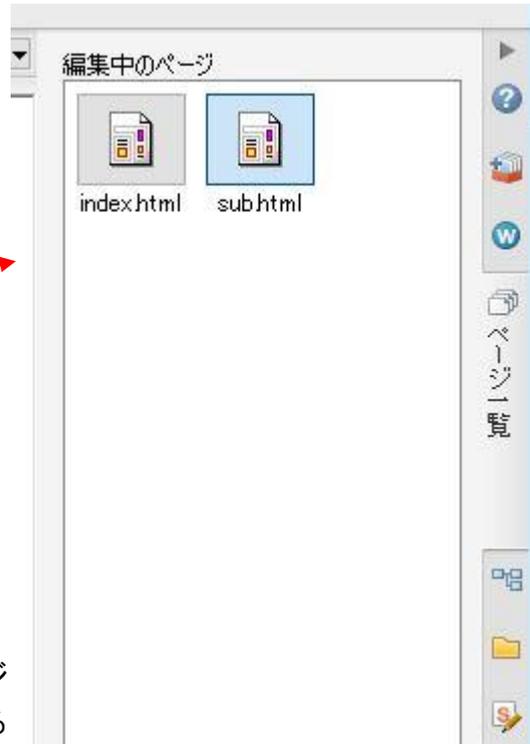
メニューバーの「ファイル」から、「標準モードで新規作成」を選択し、新しいページを作成してください。こちらのページは index.html からのリンク先として用意するページです。

新規画面が開いたら、編集領域に「リンク先のページ」と入力してください。その後、sub.html という名前を付けて保存してください。



保存できたら、右端の「ページ一覧」アイコンをクリックしてください。現在開いているページの一覧が表示されます。編集中のページ欄に、「index.html」と「sub.html」という2つのファイルが表示されています。複数のページを開いている場合は、この中から編集したいページを選択できます。

右端の「ページ一覧」
アイコンをクリック



青くなっている方が表示中のページ
表示に少し時間がかかることがある

ここでは、「index.html」をクリックしてください。

リンクの設定

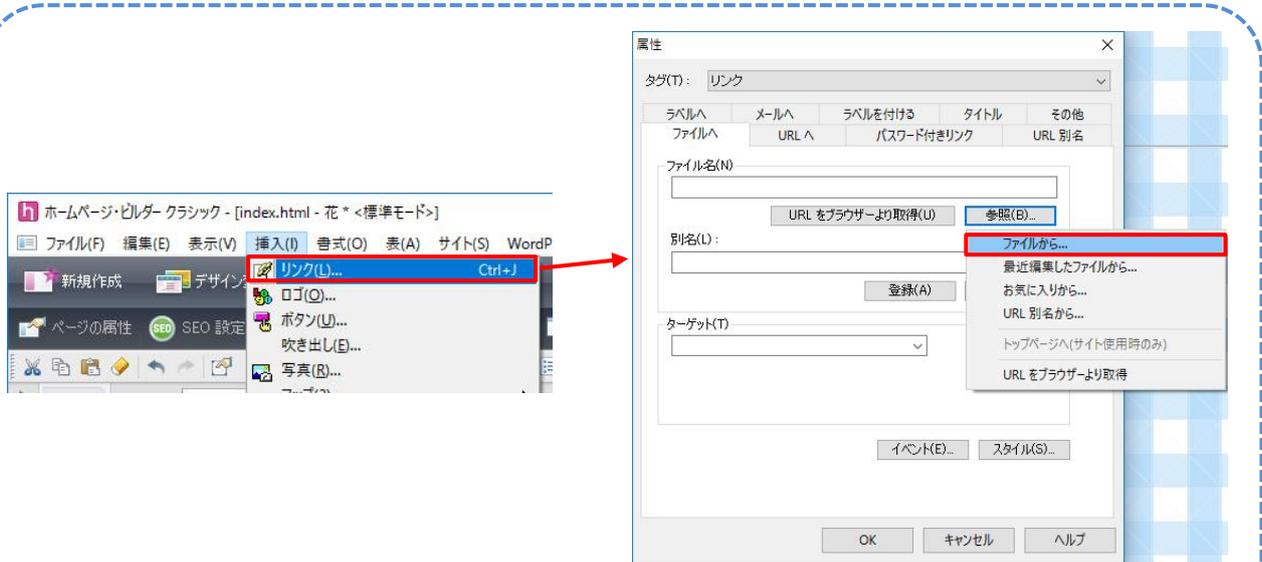
「index.html」から「sub.html」へファイル移動するためのリンクを設定しましょう。現在開いている「index.html」の画面上で、先ほど記入した文字の後に、新しく文章を入力する感覚で、カーソルを進めてください。

そこに、「次のページへ」と入力してください。「次のページへ」の部分をドラッグします。この「次のページへ」の文字をクリックした時、別のページへ移動する機能を「リンク」と言います。



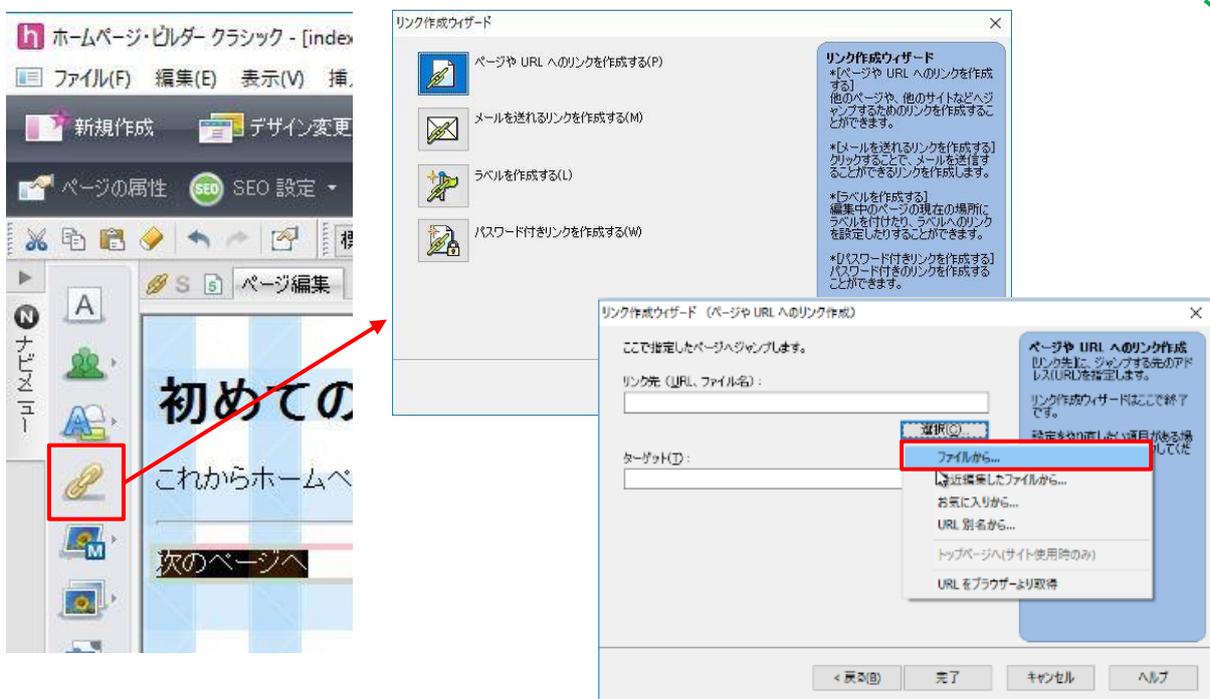
次に、メニューバーから「挿入」→「リンク」を選択するか、画面左部分に表示されている「ナビメニュー」→「リンクの挿入」ボタンをクリックしてください。後者はウィザードが表示されて、リンクのカスタマイズが可能です。どちらの場合も、「参照ボタン」→「ファイルから...」を選択します。(次のページを参照)

・メニューバーから操作する方法

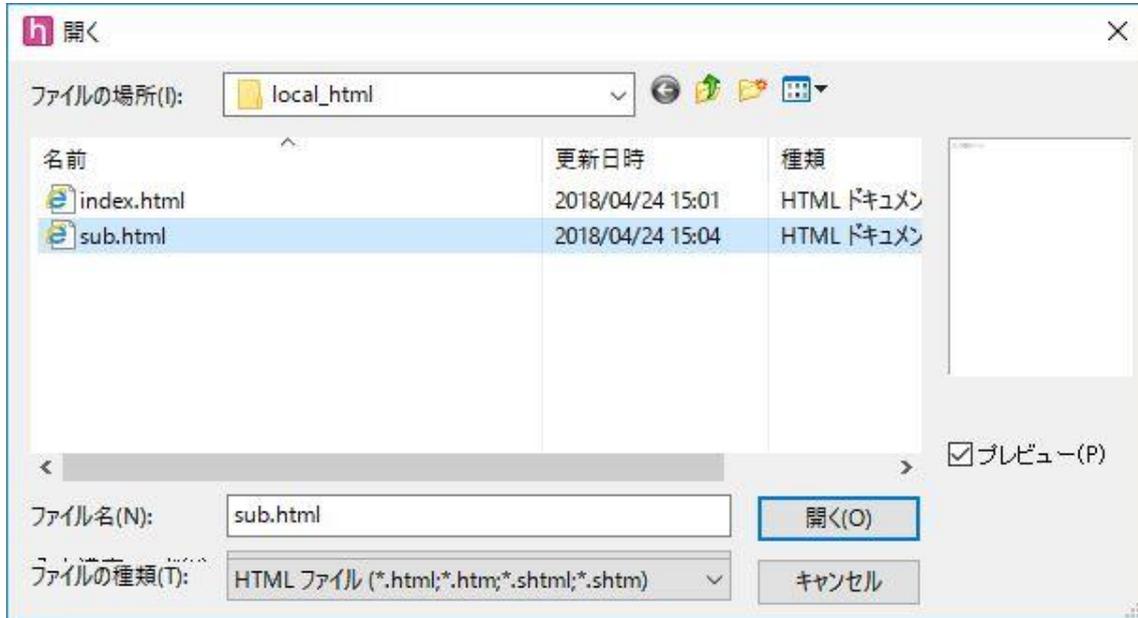


参考：属性ダイアログの「ファイルへ」タブは、ファイルにリンクする時に、「URL へ」タブは他のホームページへリンクする時に使用します。

・ナビメニューから操作する方法



「開く」ダイアログボックスが表示されます。リンクしたいページを指定します。ここでは sub.html を選択します。



先ほど選択した「次のページへ」の文字が青くなり、下線が引かれます。これでリンクの設定ができました。



正しく設定できたか確認するためには「プレビュー」タブをクリックしてください。すると「ページ編集」画面と同様の画面が開きます。この画面上で「次のページへ」をクリックし、先ほど作った sub.html ファイルの画面が表示されれば OK です。



注意：ページ編集を続けるには「ページ編集」タブをクリックして編集画面に戻ってください。

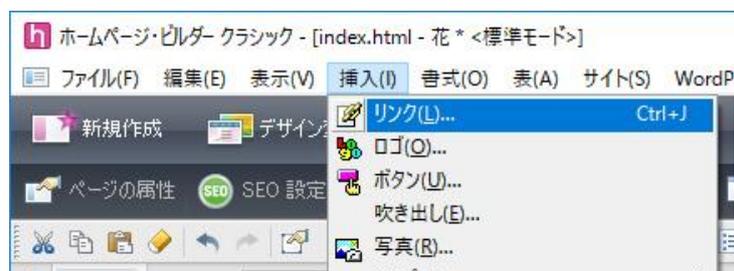
プレビュー画面では編集はできません。

外部ページへのリンク

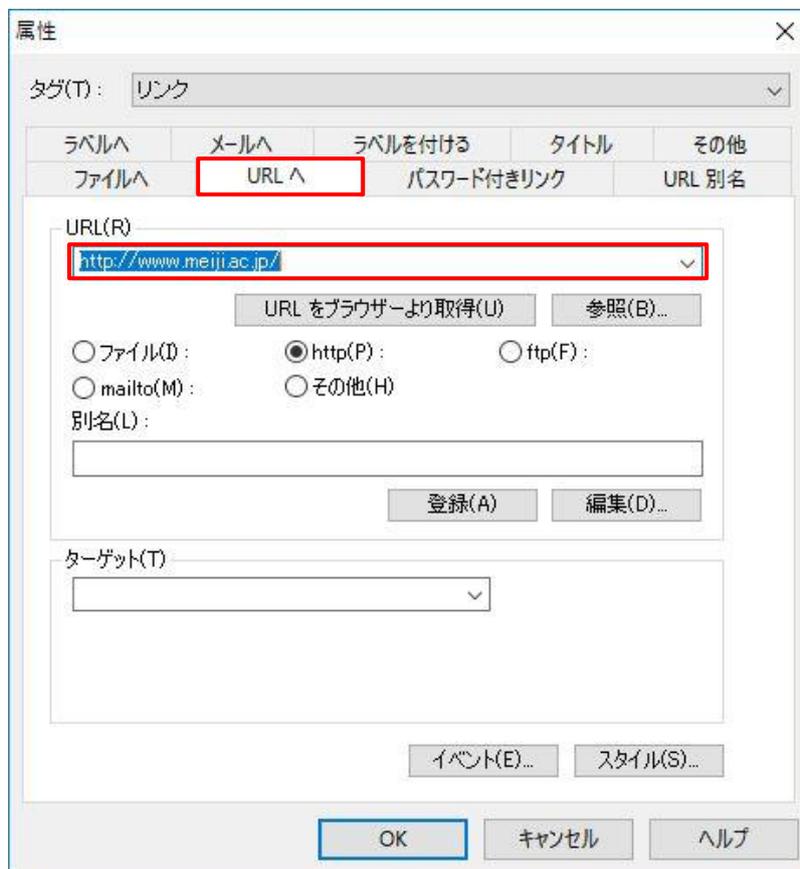
明治大学トップページへのリンクを作成してみましょう。先ほどの要領で「明治大学へ」という文字列を入力し、選択します。



メニューバーから「挿入」→「リンク」を選択してください。



下図の属性ダイアログボックスが開くので、「URL へ」タブを開きます。URL の欄に、明治大学トップページのリンクを記述しましょう。明治大学のホームページをブラウザで開き、アドレスバーからコピー&貼り付けしても構いません。



入力できたら、OK ボタンをクリックします。

プレビュー機能で、リンクが機能しているか確認してみましょう。

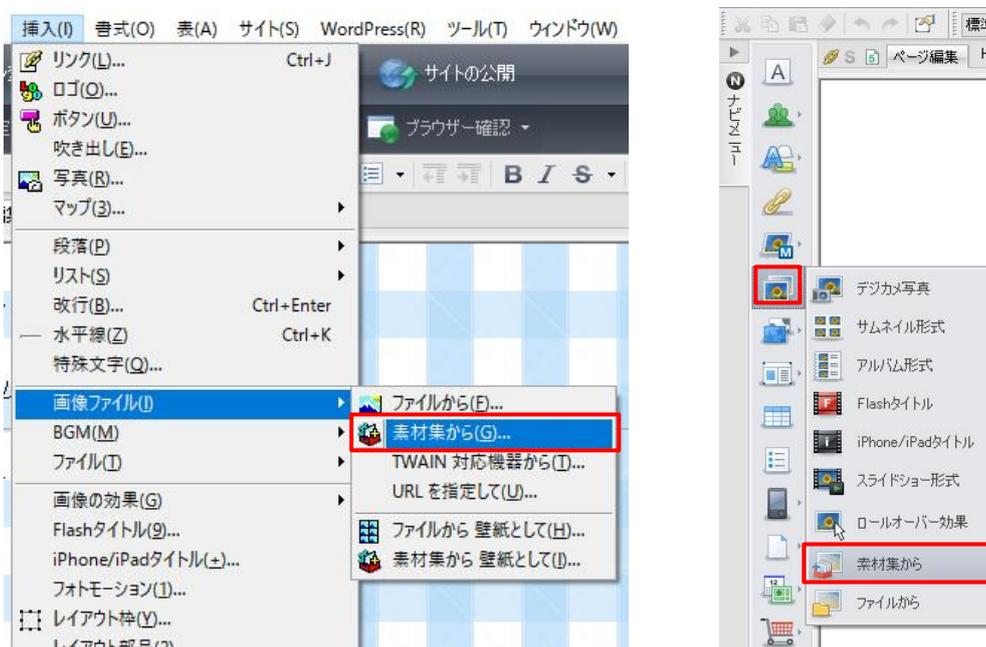


プレビューが完了したら、ページ編集タブに戻しておきましょう。

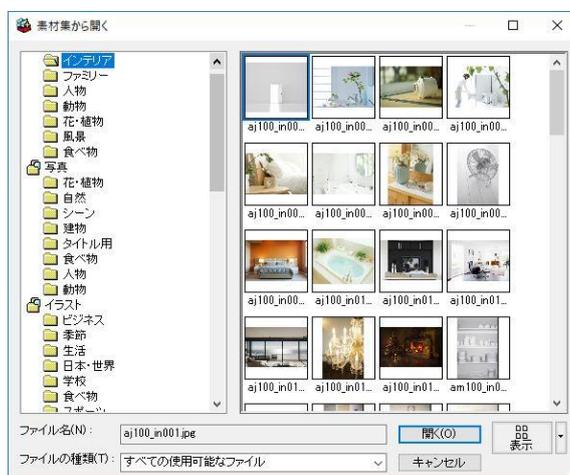
2.13. 画像の挿入

画像を挿入します。新しく文章を入力する感覚で、カーソルを進めてください。

次に、メニューバーの「挿入」→「画像ファイル」→「素材集から」をクリックするか（左図）、画面左部分に表示されている「ナビメニュー」→「写真や画像の挿入」から「素材集から」ボタンをクリックしてください（右図）。今回はホームページ・ビルダーに添付されている素材集の画像を使用します。



どちらの操作でも、「素材集から開く」ダイアログが開きます。好きな画像を選択してみましょう。選択したら、「開く」をクリックします。



選択した画像が配置されます。



画像の大きさを変えたい時は、画像を選択し、画像の周囲に表示される「ハンドル」という四角い点をマウスで操作しながら調節してください。



参考：

ホームページ・ビルダー21 で使用できる画像ファイルは下記のとおりです。

- GIF (拡張子.gif) : ジフ。容量が軽い、色数が256色までしか使用できない。動画を扱うことができる。
- JPEG (拡張子.jpg) : ジェイペグ。サイズ、画質のバランスがよく扱いやすい。
- PNG (拡張子.png) : ピング。容量が軽く画質もJPEGよりよい。背景を透過できる。
- BMP (拡張子.bmp) : ビットマップ、ビーエムピー。サイズがとて大きい。ホームページには基本的に使用しない。

画像フォーマットそれぞれに特徴があります。必要に応じて使い分けましょう。

【ホームページに画像を掲載する際の注意】

ホームページ作成時には使用する画像データの「著作権」に十分気を付けましょう。

また、自分で撮影した写真でも、個人を特定できる第三者が写っている場合は「肖像権」に触れる事があります。友達や知り合いの写真に掲載する場合は必ず本人に確認を取りましょう。

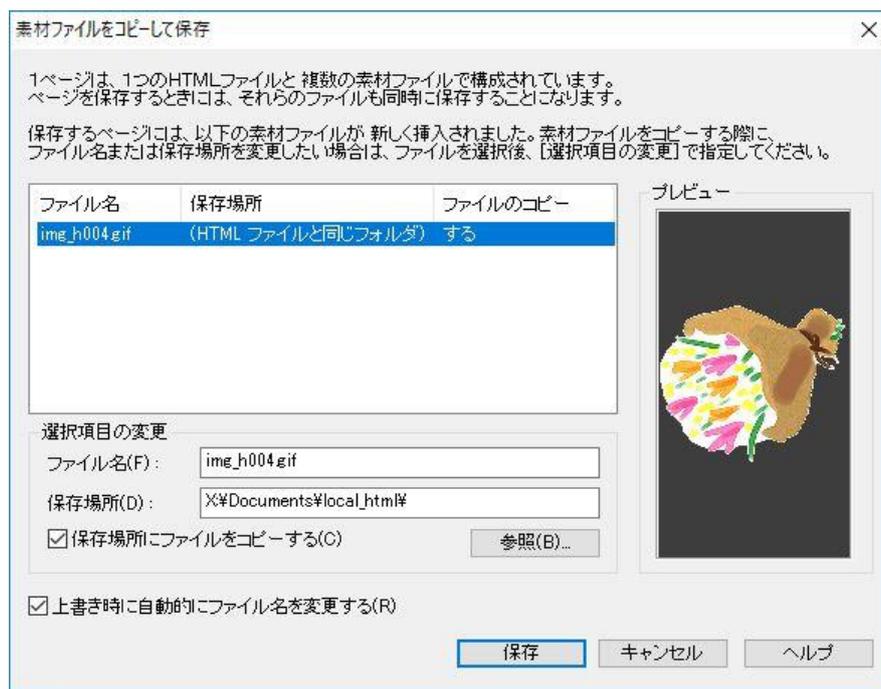
また、ネット上の画像検索された画像それぞれにも著作権は存在します。著作権フリーとなっているもの以外をホームページに使用することがないように、気を付けてください。

Twitter や Youtube などに投稿された画像や動画なども、保存して自らアップロードすると違法になります。どうしても紹介したい場合は、リンクで参照しましょう。

2.14. ページの保存

(画像ファイルも合わせて保存する)

ホームページ全体をまとめて保存しましょう。メニューバーの「ファイル」→「すべて保存」を選択します。



先ほど挿入した画像をどこに保存するかと尋ねてきます。ページと画像は必ず全て local_html フォルダの中に保存します。保存場所に『(HTML ファイルと同じフォルダ)』が指定されている場合、画像は local_html フォルダに保存されます。

「上書き時に自動的にファイル名を変更する」にチェックをして保存をクリックしてください。

画像ファイルもリンク機能で表示されていて、あとから名前が変わると表示ができなくなります。画像ファイルの名前を変更する必要がある場合には、画像を挿入する前にあらかじめ変更しておきましょう。

注意：ファイル名は半角英数字です。半角カタカナや全角文字は使わないでください。

以上でホームページの作成は終了です。

では、これらのページをサーバーへ転送し、実際にブラウザで表示してみましょう。

3. Web サーバーへのアップロード

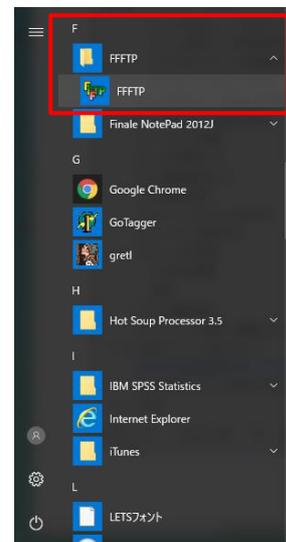
作成したホームページを公開します。ホームページは Web サーバーへ転送して、はじめて公開されます。FFFTP というファイル転送ソフトを使って samba00 というサーバーに転送することでホームページとして公開されます。

3.1. ページのアップロード

FFFTP を起動してください。

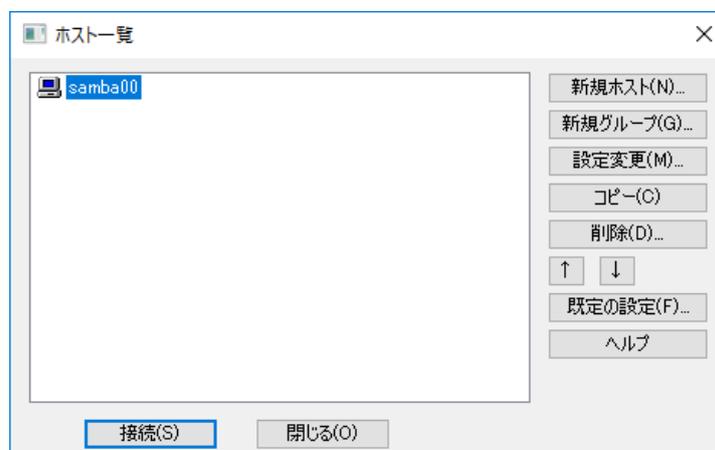
「スタート」ボタンから F の項目にスクロールし
→ 「FFFTP」フォルダ
→ 「FFFTP」

をクリックすると起動できます。



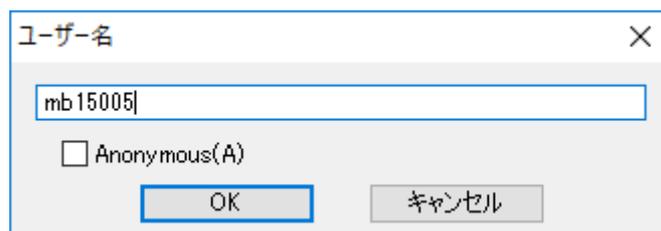
ホスト一覧の画面が開くので、ここで転送先のサーバー（samba00）を指定したら、「接続」を選択してください。

※Samba（サンバ）は、マイクロソフトの Windows ネットワークを実装したフリーソフトウェアです。



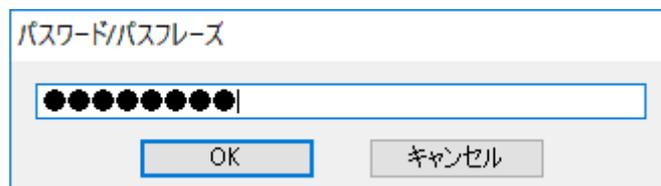
参考：接続先のことをホストと呼びます。ここではホストは Web サーバーのことを指しています。

次に自分のユーザーID、パスワードと順に入力した後「OK」をクリックします。この時「Anonymous」の欄にチェックを入れ**ない**てください。「Anonymous（アノニマス）」とは「匿名」のことで、名前を名のることなく、FTP サーバーに接続することです。

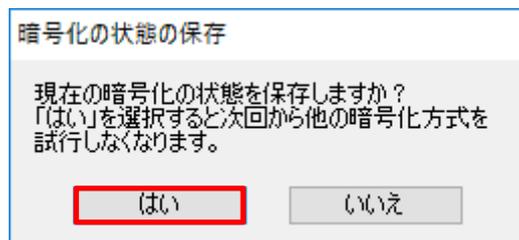


ユーザー名は通常の学部生であれば、MeijiMail の@以前の英数文字列です。

パスワードは MeijiMail、共通認証などのパスワードと共通です。

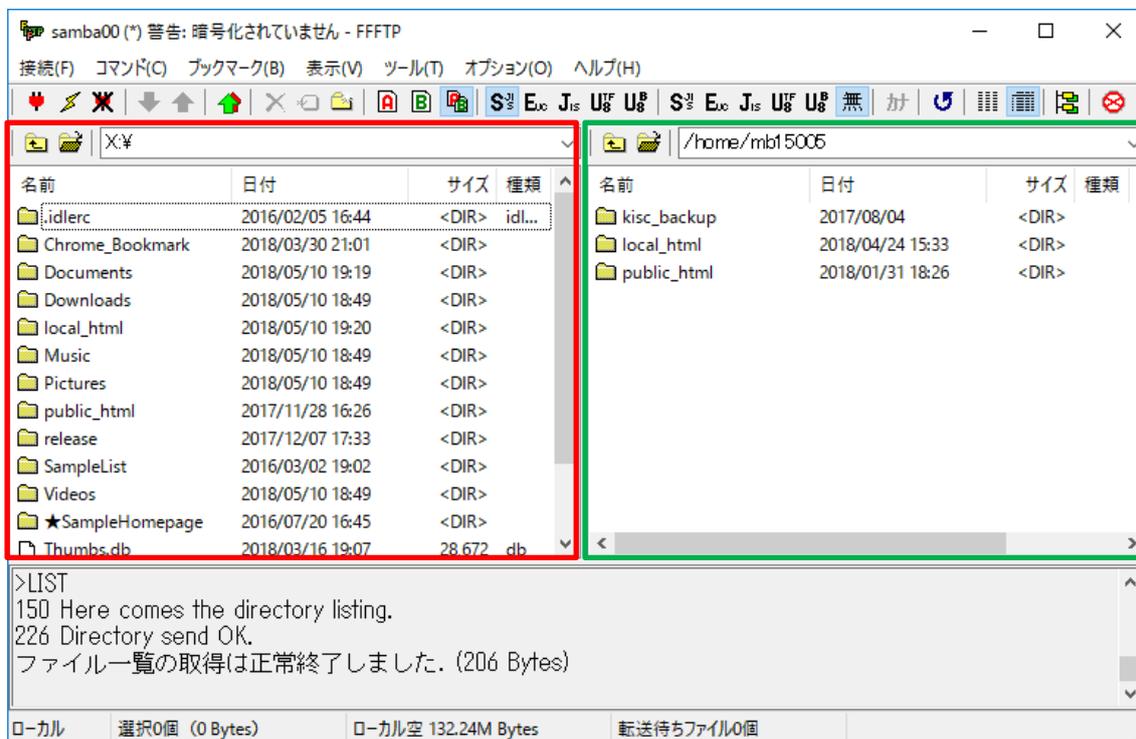


暗号化状態の保存について聞かれたら、「はい」を選択します。



samba00 に接続すると以下のような画面になります。

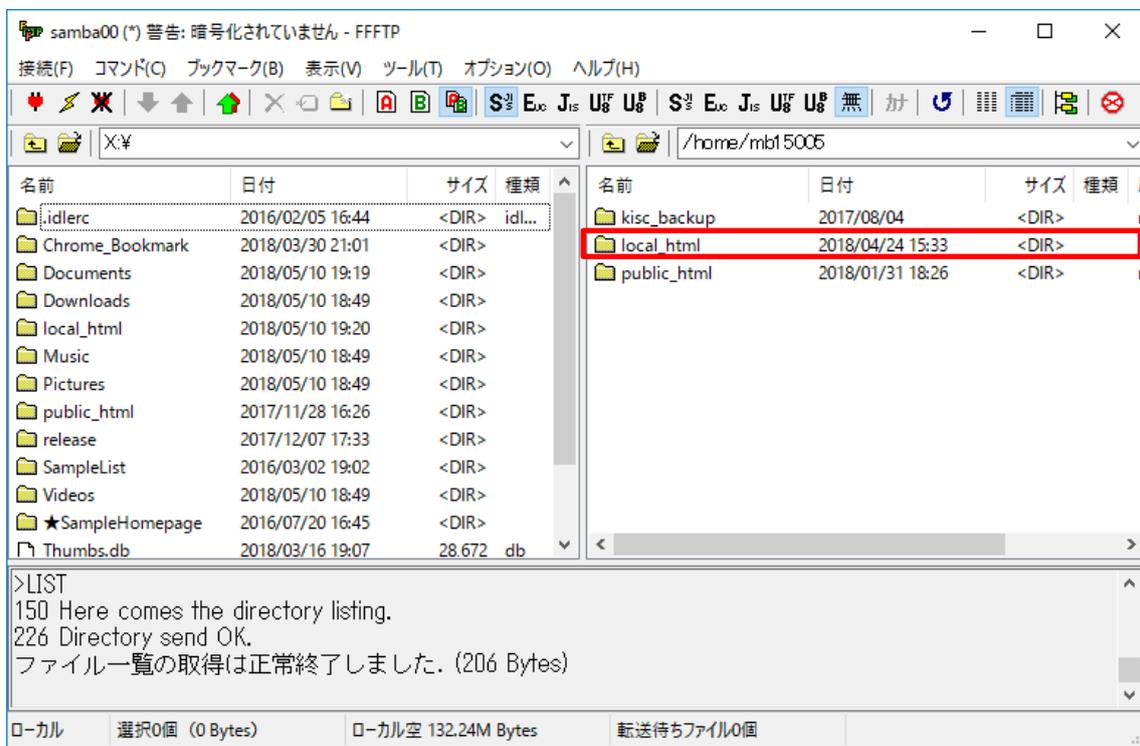
赤く囲んだ画面左側のフォルダが自分のフォルダで、「X:¥」 (MyDocs) が初期状態です。こちら側を、ローカル側のフォルダと呼びます。対して緑で囲んだ画面右側のフォルダをホスト側のフォルダと呼びます。



表示されたローカル側のフォルダ一覧の中から local_html フォルダを選択し、アップロードボタン  をクリックすることで、ただちにアップロードが行われます。

注意：ミラーリングボタン  は、ローカル側のフォルダに表示されているものを無条件ですべてホスト側のフォルダにコピーするボタンです。間違えないように気をつけましょう。

下図のように local_html フォルダがホスト側のフォルダにコピーされていれば転送完了です。



補足：

ファイル転送ソフトには、FFFTP 以外にもいろいろなものがあります。

- ・ WinSCP
- ・ FileZilla
- ・ CarotDAV
- ・ ホームページビルダー搭載のファイル転送機能

etc

自分の使いやすいものを選択して使用してください。

3.2. ホームページをブラウザ上で見る

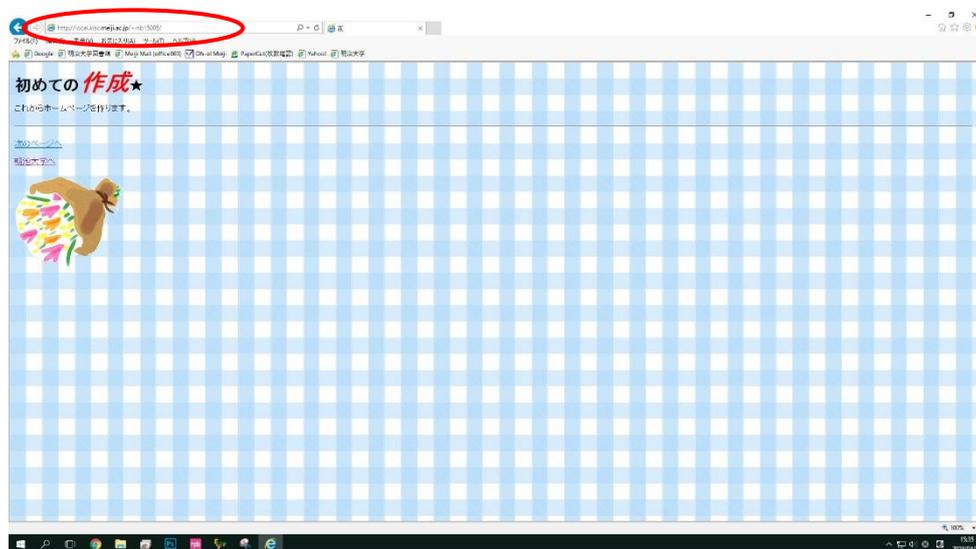
教室の PC から Web ブラウザ (InternetExplorer か GoogleChrome) を起動して、アドレスバーに下記アドレスを入力したのち、「Enter」キー を押してください。

- ・ 学校内のみ公開する場合

`http://local.kisc.meiji.ac.jp/~ユーザーID/`

自分が作ったホームページが表示されましたか？

正しく転送されていれば下記のように自分が作ったホームページがブラウザ上に公開されます。



なお、このページは学内向けとして公開されているため、学外から閲覧することはできません。スマートフォンなどでアクセスしてみると、遮断されることがわかります。

学校外へ公開する場合は local_html フォルダを public_html フォルダという名前に変更してアップロードすることで可能となります。FFFTP 上からホスト側のフォルダの名前の変更を指定してもかまいません。その際の URL は下記のようになります。

- ・ 学校外にも公開する場合

`http://www.kisc.meiji.ac.jp/~ユーザーID/`

スマートフォンなどで確認してみましよう。お疲れさまでした。

注意：

学内、学外向けにフォルダを分けるルールは明治大学独自の仕様です。レンタルサーバーなどを用いる場合はルールが業者ごとに異なりますので、必ず仕様を確認してください。また、ユーザーID、パスワードも、レンタルサーバー業者によって異なるものが発行されます。

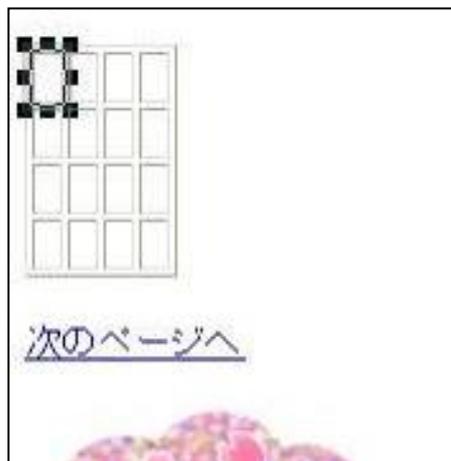
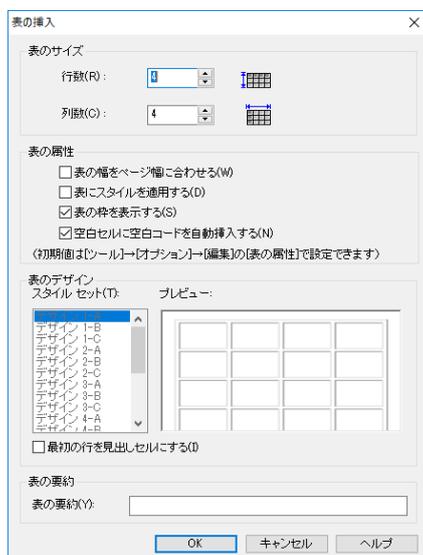
4. 付録

A. 表の挿入

表を挿入したい場所にカーソルを移動してください。メニューバーの「表」→「表の挿入」を選択します。画面左部分に表示されている「ナビメニュー」→「表の挿入」ボタン  をクリックしても同様です

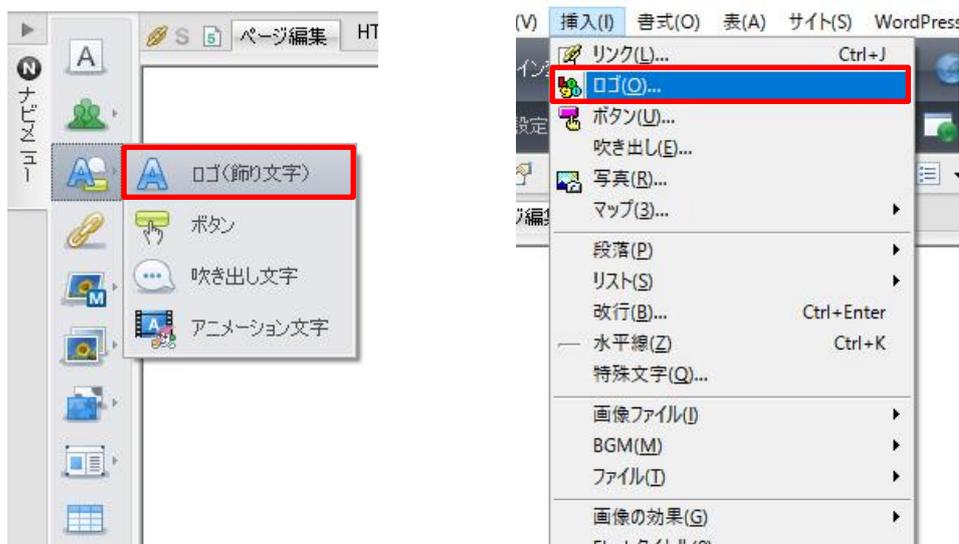


「表の挿入」ダイアログが表示されます。ここで行数、列数を指定してOKをクリックすると、画面上に表が挿入されます。表の中には文字のほかに、画像も挿入できます。表を作ったレイアウトを作成するときは、どこでも配置モードの利用が便利です。

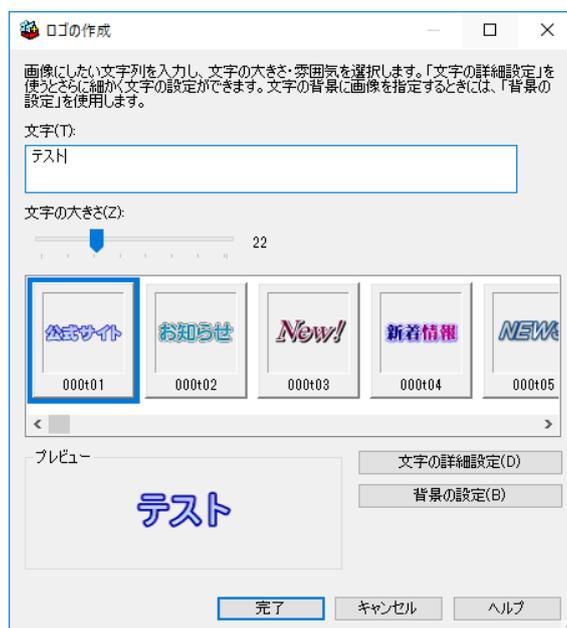


B. ロゴの作成

ロゴは以下の手順で作成します。ロゴを入りたい箇所にカーソルを移動してください。画面左部分に表示されている「ナビメニュー」→「ロゴ(飾り文字)の挿入」から「ロゴ(飾り文字)」ボタンをクリックするか、メニューバーから「挿入」→「ロゴ」をクリックしてください。



「ロゴの作成」画面が表示されるので、文字欄に適切な文字を入力し、文字の大きさ、文字の形状を選択してください。プレビューで確認し、良ければ完了をクリックして完成です。

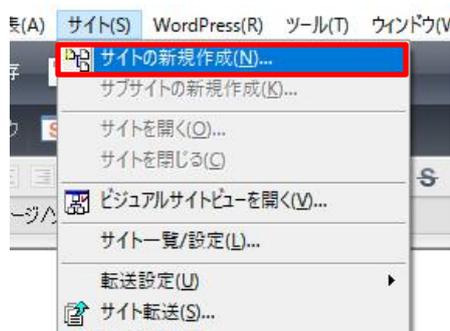


C. サイト機能

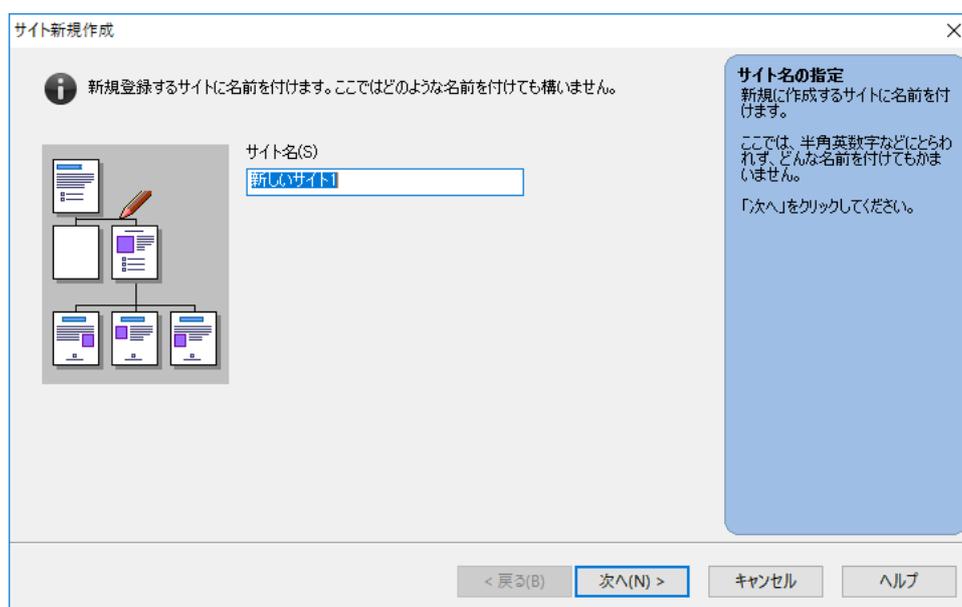
サイトとは、ひとまとまりのウェブページ群のことです。ホームページ・ビルダーにはサイト機能があり、ホームページの中で使われるファイル、画像などをまとめて管理（保存）し、サイト単位でファイルの読み込みができる機能です。サイトを作成する場合は新たに「ホームページ・ビルダー21 クラシック」を立ち上げてください。

サイトの新規作成

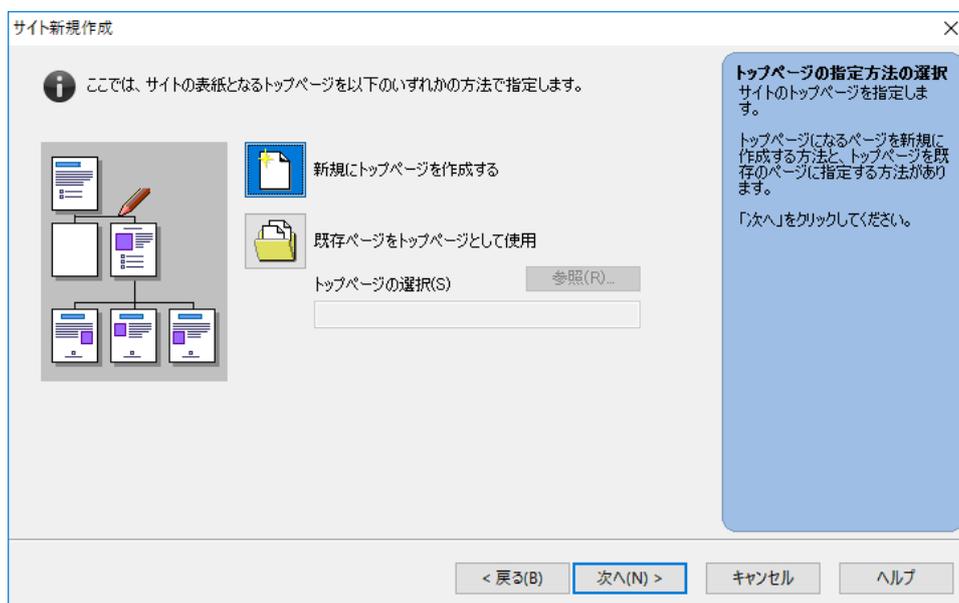
メニューバーより「サイト」→「サイトの新規作成」を選択してください。



サイト名を入力します。サイト名はページタイトルとなります。「次へ」をクリックします。



「新規にトップページを作成する」を選択→「次へ」をクリックします。



トップページのファイル名 項目で「index.html」を選択します。
 トップページの作成先フォルダの指定 項目で、「参照」をクリックします。フォルダの選択画面が表示されるので、サイトを作成する場所を指定してください。学内の場合、
 (X:¥) ドキュメントの中の local_html フォルダを指定したら「OK」をクリックします。



「ページ作成方法の選択」という画面が表示されますが、今回は「白紙ページ」を選択してください。標準モード、どこでも配置モードのどちらでも使いやすいほうで構いません。



ほかにもカスケーディング・スタイルシート（CSS）の選択ができますが、ここでは省略します。もう少しホームページやインターネットの知識が身に付いたら試してみてください。自習室の本も参考に、勉強をしてみてください。

これでサイトの作成は完了です。

このサイトに html ファイルを追加していくことでホームページを作成していきます。

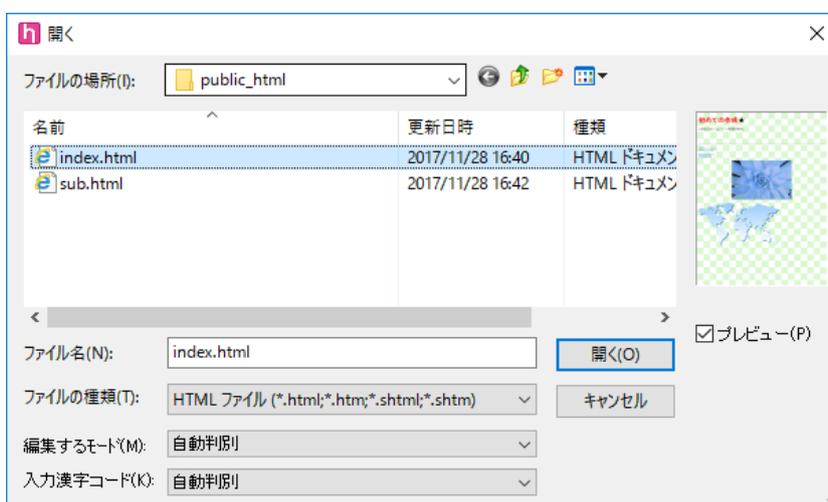
（転送設定のメッセージが表示されますが、「いいえ」をクリックしてください。）

サイト単位で読み込む

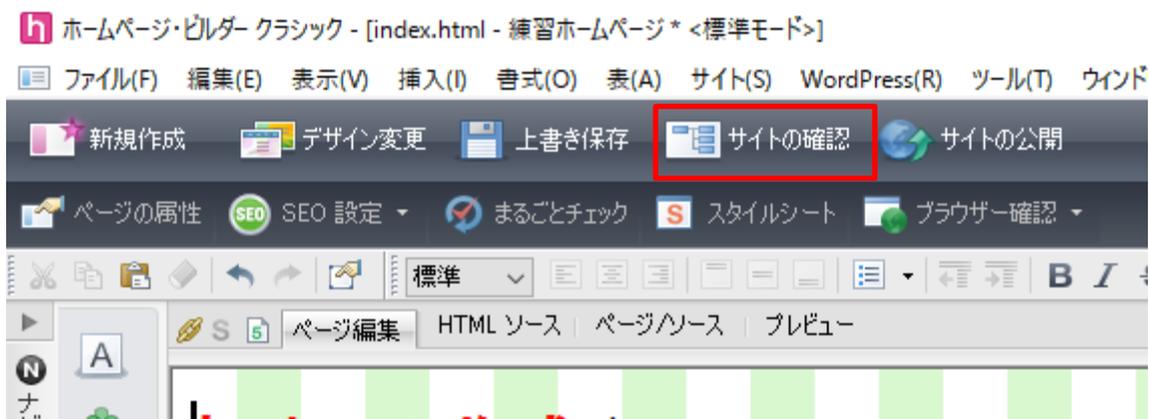
ホームページ更新の依頼をされた場合など、サイト全体の全貌をつかむことが重要です。ホームページ・ビルダーでは、ホームページ単位でリンクをたどり、つながりを視覚的に表示することが可能です。

自習室のパソコンは履歴が残らないため、保存したサイトの情報が消えてしまいます。今回は index.html をトップページとしたサイトを読み込む機能を説明します。

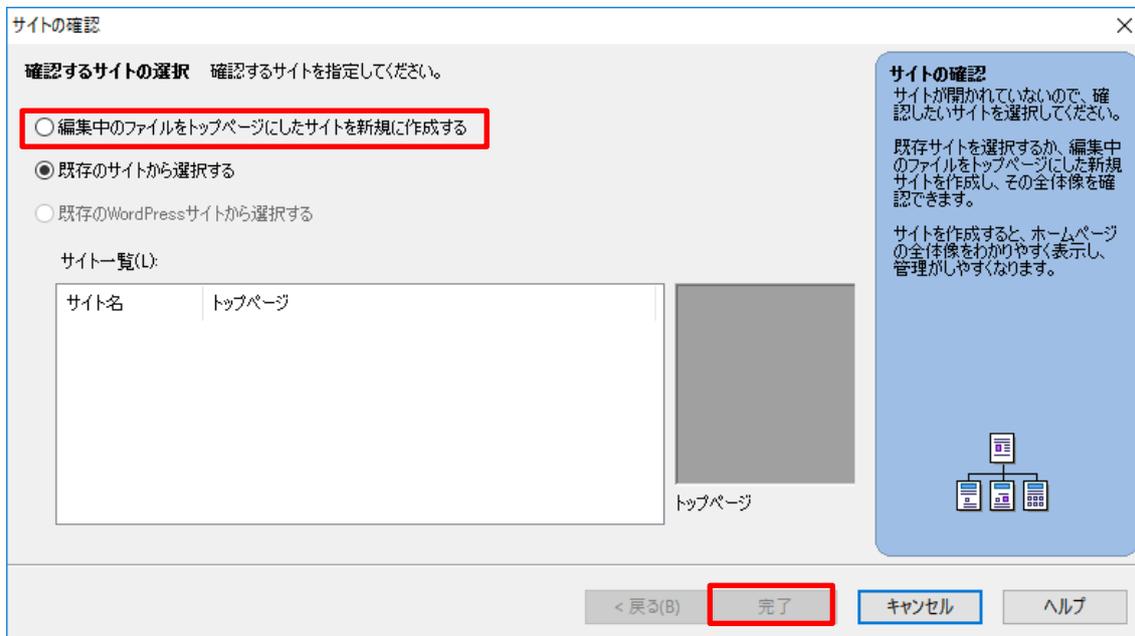
メニューバーより「ファイル」→「開く」を選択してください。サイトの確認をしたいフォルダの index.html を選択します。



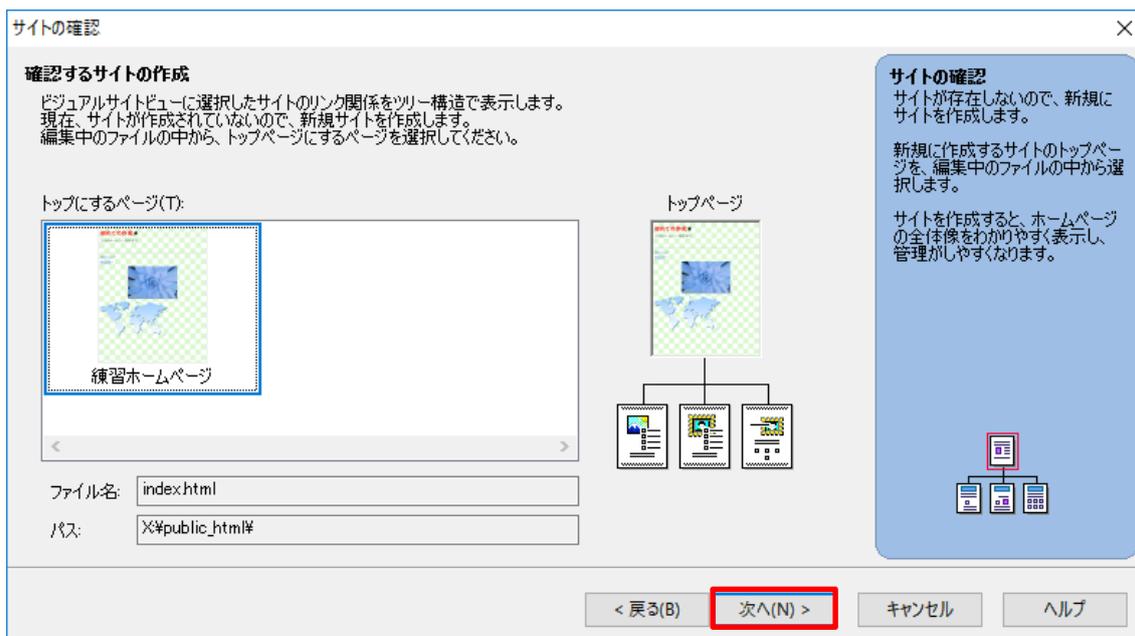
サイトの確認を選択します。



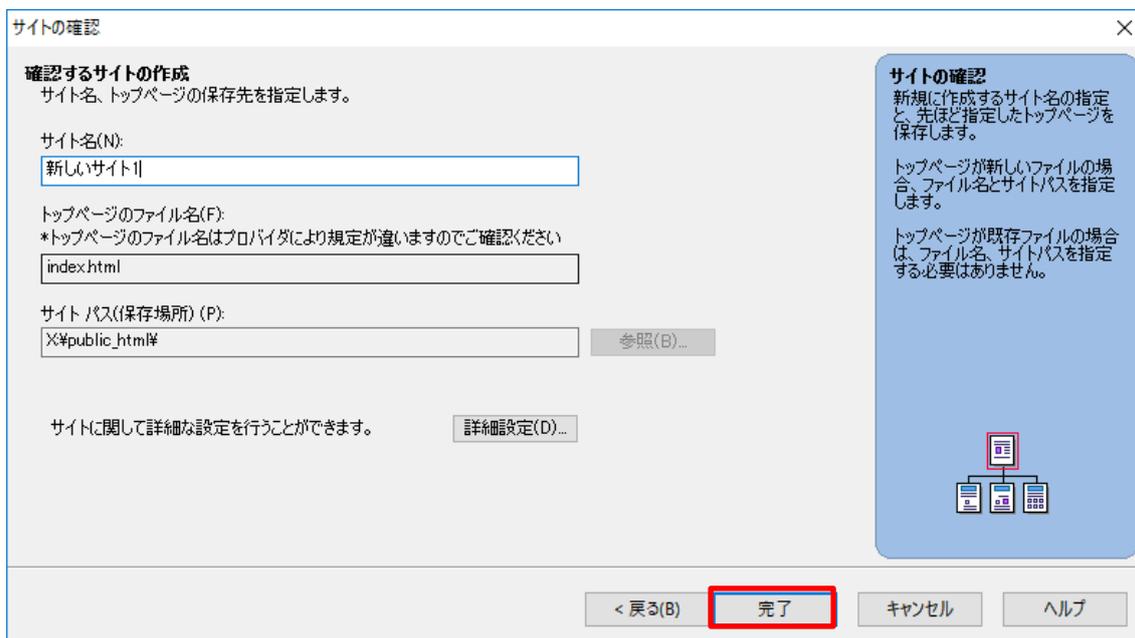
サイトの確認ダイアログボックスが開きます。「編集中のファイルをトップページにしたサイトを新規に作成する」を選択します。「完了」ボタンが「次へ」ボタンに変わりますのでクリックします。



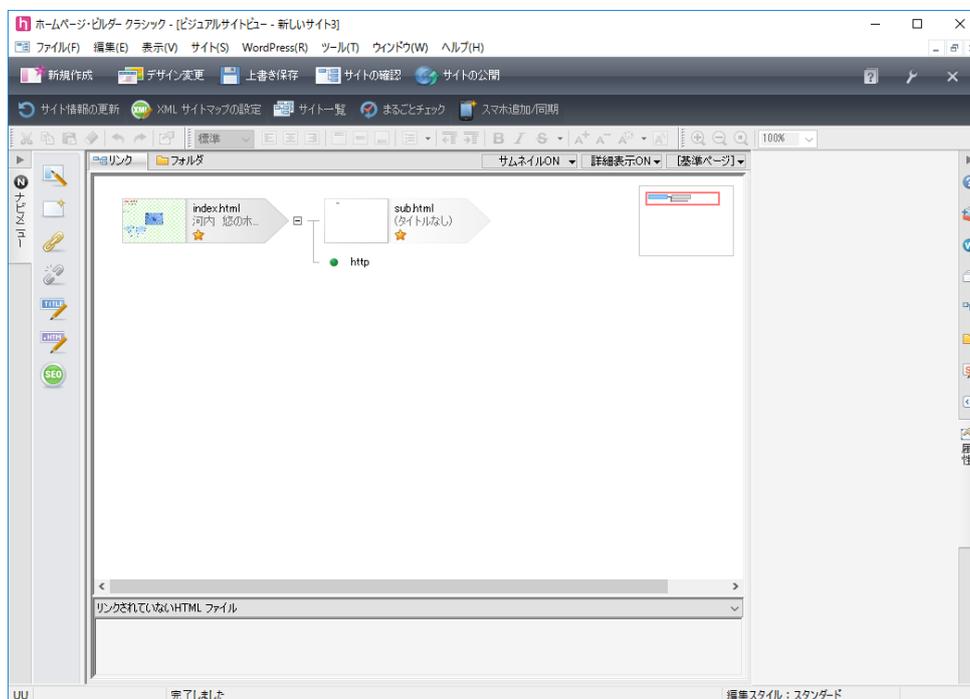
下記画面も「次へ」ボタンをクリックしてください。



適当なサイト名を入力します。デフォルトのままでもかまいません。



成功すると、ホームページの関連図が作成されます。



該当ファイルをダブルクリックすることで、ホームページを編集できます。